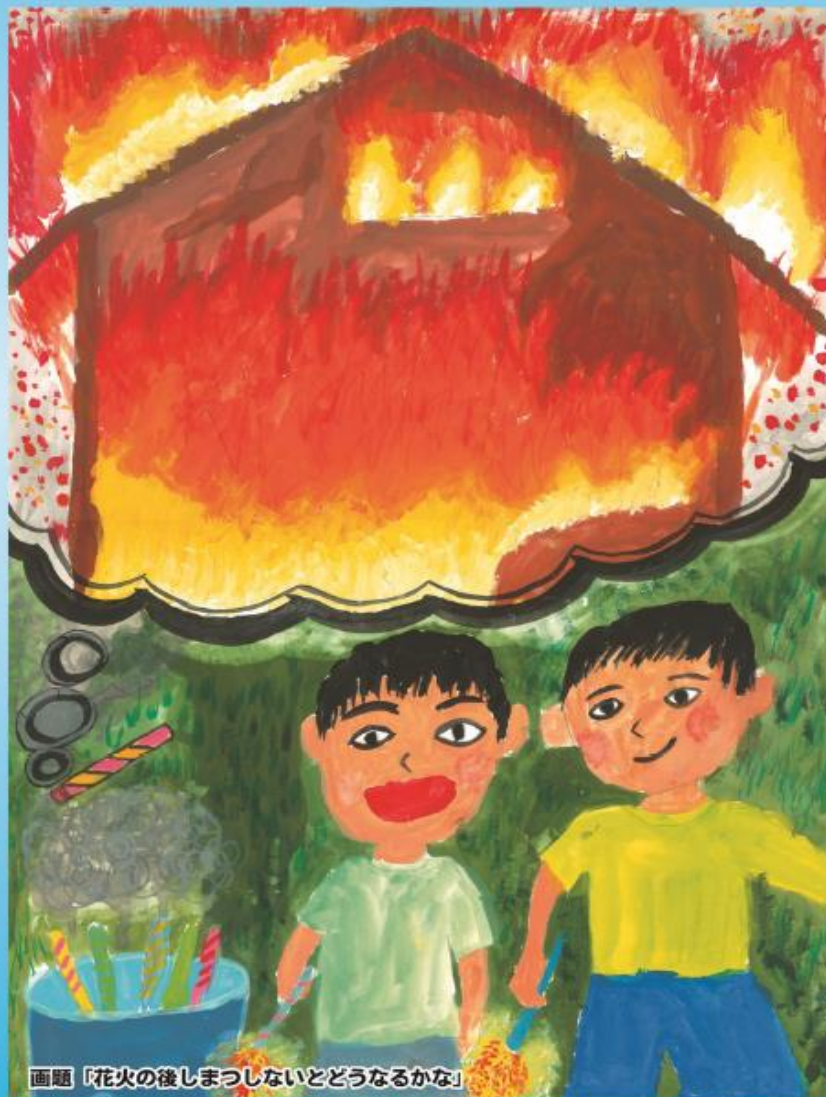


令和3年版（2021年版）

消防年報

火の用心 大事なふるさと 守るため

令和三年 防火図画 最優秀賞作品 十和田市立藤坂小学校4年 戸来 保希



画題「花火の後しまつしないとうなるかな」

十和田地域広域事務組合消防本部・十和田地域消防安全管理協会

令和三年 防火標語 最優秀賞作品 十和田市立北園小学校4年 小向 明流

十和田地域広域事務組合消防本部

はじめに

この年報は、十和田地域広域事務組合消防本部管内（十和田市、六戸町）における令和3年中の主な消防事務と、消防本部及び消防団の現勢その他の諸般事項を統計的に収録したものです。

統計資料は暦年を原則として調査しましたが、予算関係は会計年度で、その他のものについては当該表にそれぞれ記載した期間、年月日をもって表しています。

この年報が今後の当組合の消防行政の運営と消防力の充実、発展に資するとともに当地域の消防現況を広く地域住民及び関係機関の皆様にご理解いただくための一助となれば幸いです。

令和4年8月

十和田地域広域事務組合消防本部

目 次

【消防本部の概要】

十和田地域広域事務組合消防本部管内の概況	1
組合消防発足後のあしどり	2

【総 務 編】

消防本部管内図	10
消防庁舎施設	11
構成市町の概要	13
構成市町の人口・世帯数の推移	13
消防本部組織図	14
消防職員の配置状況	15
消防職員の階級別勤続年数状況	15
消防職員の階級別年齢状況	16
消防職員の研修状況	17
消防職員の資格取得状況	18
消防予算	19
構成市町負担金状況	20
人口・世帯数に対する消防予算の状況	20

【通 信 編】

通信指令施設等設置状況	22
消防緊急通信指令施設等の機器構成	23
通信施設（無線）	26
無線局系統図・置局図	27
災害等受信状況	28
月別気象状況	29
上十三消防指令センターの様子	30

【火 災 編】

火災状況	32
市町別火災発生状況	33
火災発生状況比較表	34
月別火災発生状況	34
曜日別火災発生状況	35
時間帯別火災発生状況	35
過去10年間における火災の推移	36
原因別火災発生割合	36
過去20年間の火災状況	37

【警 防 ・ 救 助 編】

消防車両等の保有状況	39
消防車両等配置状況図	40
救助業務状況	41
事故種別出動割合	41
管内別救助出動状況	42
月別救助出動状況	43
過去5年間における救助業務状況	43
火災・救急・救助以外の出動状況（署所別）	44
消防水利施設状況	45
消防相互応援協定等の状況	46

【救 急 編】

救急出動件数（内訳）	48
救急出動件数の推移	48
月別救急出動件数（前年との比較）	49
曜日別救急出動件数（前年との比較）	49
時間帯別救急出動件数	49
救急搬送人員（内訳）	50
現場到着所要時間状況	51
医療機関収容所要時間状況	51
事故種別・程度別搬送人員状況	51

年代別救急搬送人員状況（過去5年間の比較）	52
応急手当講習会実施状況（過去10年間の比較）	52
救急隊員の行った応急処置状況	53
救急救命士資格状況	53
青森県ドクターヘリ出動状況（前年との比較）	54

【予 防 編】

防火対象物一覧表	56
防火対象物立入検査実施状況	57
防火対象物各種届出状況	58
火災予防条例等に基づく各種届出状況	59
予防広報活動状況	60
危険物施設市町別設置状況	61
危険物施設倍数別設置状況	61
危険物施設立入検査実施状況	61
危険物施設事務処理状況	62
火災予防運動実施状況	63
消防協力団体活動状況	65
十和田地区幼年・少年消防クラブ、婦人防火クラブ	66
各クラブ員数の推移	66

【消 防 団 編】

消防団員の階級別定員及び実員	68
消防団員の勤続年数状況	69
消防団員の階級別年齢状況	70
消防団員報酬	71
ポンプ等配置状況	72

十和田地域広域事務組合消防本部管内の概況

当組合は、昭和47年9月1日、十和田市・十和田町・六戸町の消防事務を行うため十和田地区消防事務組合として発足した。平成10年に学校給食事務の共同処理を加え、名称を十和田地域広域事務組合に改め、平成12年には清掃事務、火葬事務の共同処理を開始し、その後、市町村合併等を経て、現在では十和田市・六戸町・おいらせ町・五戸町・新郷村の1市3町1村で構成されている。（消防事務は十和田市と六戸町）

当消防本部の管轄地域は青森県東南部の内陸に位置し、当消防本部が置かれている十和田市の西部は山地で、十和田八幡平国立公園となっている八甲田連峰・十和田湖・奥入瀬溪流がある。また、十和田市中心部から東部には平坦な三本木原が広がり、東に隣接する六戸町も平坦な地形で形成されている。

夏季の最高気温は35℃を記録したこともあるが、昼夜の温度差が比較的大きく夕方には涼しくなることがほとんどで大都市と比べれば過ごしやすいと言える。一方、冬季は全域で乾燥した日が多く、降雪期には強い北西の風を伴って吹雪となる日もあり、1月から3月にかけて多い時で90cm程度の積雪となることもある。特に八甲田連峰に近い西部ではさらに積雪が多く、特別豪雪地帯に指定されている。また、冷え込みが厳しく最低気温は-20℃を記録したこともある。

十和田市の主要道路として、市街地東に国道実延長全国第1位の国道4号、市街地から六戸町、八戸市を通り三陸海岸に沿って仙台市まで続く国道45号、同じく市街地から奥入瀬溪流、十和田湖を経て弘前市に至る国道102号が走っている。このほか十和田湖畔の子ノ口から休屋を通り秋田県大館市に至る国道103号や十和田市と三沢市を結ぶ主要地方道三沢・十和田市線などがある。

平成22年12月の東北新幹線全線開業により、当消防本部から東京まではJR七戸十和田駅を利用する陸路で約3時間、三沢空港を利用する空路で約2時間と日帰り可能な距離となり、さらなる地域の発展に期待を寄せている。

組合消防発足後のあしどり

年月日	事 項																											
S47.03	十和田市、十和田町、六戸町の定例議会において十和田地区消防事務組合設立が議決される																											
S47.07.25	青森県知事に一部事務組合の設立の許可を申請																											
S47.09.01	青森県知事より指令第4533号を以て設立が許可され、十和田市、十和田町（旧十和田湖町）、六戸町の1市2町で十和田地区消防事務組合を発足 消防本部、十和田消防署、十和田町分署、六戸町分署で業務開始する																											
	<table> <tr> <td>管理者</td> <td>十和田市長</td> <td>中村 亨三 氏</td> </tr> <tr> <td>副管理者</td> <td>十和田町長</td> <td>久保 佐仲太 氏</td> </tr> <tr> <td>副管理者</td> <td>六戸町長</td> <td>松浦 長兵衛 氏</td> </tr> <tr> <td>収入役</td> <td>十和田市収入役</td> <td>中野渡 進一郎 氏</td> </tr> <tr> <td>消防長</td> <td></td> <td>近藤 正美 氏</td> </tr> </table>	管理者	十和田市長	中村 亨三 氏	副管理者	十和田町長	久保 佐仲太 氏	副管理者	六戸町長	松浦 長兵衛 氏	収入役	十和田市収入役	中野渡 進一郎 氏	消防長		近藤 正美 氏												
管理者	十和田市長	中村 亨三 氏																										
副管理者	十和田町長	久保 佐仲太 氏																										
副管理者	六戸町長	松浦 長兵衛 氏																										
収入役	十和田市収入役	中野渡 進一郎 氏																										
消防長		近藤 正美 氏																										
	<table> <tr> <td>消防車両</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学消防ポンプ自動車</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水槽付消防ポンプ自動車</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消防ポンプ自動車</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屈折はしご付消防ポンプ自動車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>救急自動車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>患者輸送車</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指令車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>二輪消防車（赤バイ）</td> <td>2台</td> </tr> </table>	消防車両				化学消防ポンプ自動車	2台		水槽付消防ポンプ自動車	2台		消防ポンプ自動車	2台		屈折はしご付消防ポンプ自動車	1台		救急自動車	1台		患者輸送車	2台		指令車	1台		二輪消防車（赤バイ）	2台
消防車両																												
	化学消防ポンプ自動車	2台																										
	水槽付消防ポンプ自動車	2台																										
	消防ポンプ自動車	2台																										
	屈折はしご付消防ポンプ自動車	1台																										
	救急自動車	1台																										
	患者輸送車	2台																										
	指令車	1台																										
	二輪消防車（赤バイ）	2台																										
S47.09.29	初議会招集、十和田市役所委員会室で開会、議長に成田一氏、副議長に長嶺勇氏を選出																											
S47.12.25	十和田町分署に救急自動車配置（山之内製薬株式会社寄贈）																											
S48.08.10	十和田消防署に救急自動車配置（青森県共済農業協同組合連合会寄贈）																											
S48.12.05	六戸町分署に救急自動車配置（日本自動車工業会寄贈）																											
S49.12.16	十和田消防署に水槽付消防ポンプ自動車配置																											
S50.04.01	「十和田町」が「十和田湖町」に改称される																											
S50.05.23	組合議会議長に嶋本利三郎氏、副議長に川村実氏選出																											
S51.08.18	十和田消防署に水槽付消防ポンプ自動車配置（日本損害保険協会寄贈）																											
S51.10.11	管理者に十和田市長洞内徳蔵氏就任																											
S52.04.01	消防長に鈴木重実氏就任																											
S52.12.24	十和田消防署に救急自動車配置（日本損害保険協会寄贈）																											
S54.06.05	組合議会議長に小山田武信氏、副議長に田中金次郎氏選出																											
S54.06.16	収入役に十和田市収入役安野茂氏就任																											

年月日	事 項
S54.12.18	十和田湖町分署に水槽付消防ポンプ自動車配置
S55.04.01	消防長に木村哲夫氏就任
S55.10.11	管理者に十和田市長中村亨三氏就任
S55.12.25	十和田消防署、十和田湖町分署、六戸町分署に指揮車配置
S56.12.23	副管理者に十和田湖町長小林喜代美氏就任
S56.12.28	十和田湖町分署に救急自動車配置(青森県共済農業協同組合連合会寄贈)
S57.08.24	十和田消防署に救急自動車配置(日本消防協会寄贈)
S57.09.24	消防本部に指令車配置
S57.12.19	副管理者に六戸町長沼田透氏就任
S57.12.22	六戸町分署に水槽付消防ポンプ自動車配置
S58.05.31	組合議会議長に小山田武信氏、副議長に太田清美氏選出
S58.06.03	六戸町分署に救急自動車配置(青森県共済農業協同組合連合会寄贈)
S58.11.18	十和田消防署に小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)配置
S59.03.08	収入役に十和田市収入役佐々木喜一氏就任
S59.05.01	消防殉職者之碑建立
S60.05.15	十和田消防署に救急自動車配置(青森県南清掃株式会社寄贈)
S60.08.25	副管理者に十和田湖町長久保佐仲太氏就任
S61.04.01	消防長に池田健氏就任
S61.09.12	消防本部に人員搬送車(マイクロバス)配置
S61.09.18	十和田消防署に水槽付消防ポンプ自動車配置(日本損害保険協会寄贈)
S62.04.01	消防長に坂本吉春氏就任
S62.05.25	組合議会議長に戸来傳氏、副議長に田中豊博氏選出
S62.07.15	十和田消防署に救助艇(折りたたみ式アルミボート)配置
S62.12.26	十和田消防署に化学消防ポンプ自動車配置
S63.03.31	消防本部にミニ消防車配置
S63.04.01	消防長に織笠清氏就任
S63.07.20	十和田消防署に査察指導車配置
H01.08.25	副管理者に十和田湖町長渡部毅氏就任
H01.12.09	収入役に十和田市収入役三浦駿一氏就任

年月日	事 項
H01.12.20	十和田消防署に水槽付消防ポンプ自動車配置
H01.12.26	十和田湖町分署に救急自動車配置
H02.02.26	十和田消防署に資材搬送車配置 (県南環境保全センター寄贈)
H02.04.01	消防長に坂本吉春氏就任
H02.08.25	消防庁舎及び訓練塔工事着工
H02.09.10	消防本部に査察指導車配置
H02.10.15	十和田消防署に救助工作車配置 (株式会社 兼松通商寄贈)
H03.03.19	訓練塔完成
H03.05.20	十和田湖畔休屋地区消防臨時出張所開設
H03.06.28	組合議会議長に戸来傳氏、副議長に岩木達巳氏選出
H03.09.30	消防本部に火災原因等調査用自動車配置
H04.02.07	十和田消防署に除雪車配置
H04.03.06	消防庁舎移転、消防緊急通信指令施設導入・運用開始 旧庁舎・望楼鎮魂火葬式挙行
H04.03.11	望楼解体
H04.03.12	旧庁舎解体
H04.03.17	消防救助技術障害突破訓練塔完成
H04.03.18	十和田消防庁舎完成
H04.03.25	十和田消防庁舎落成式及び祝賀会挙行
H04.04.01	十和田地区消防事務組合機構改革により、消防本部に通信指令課を設置、十和田湖町分署・六戸町分署を消防署に昇格
H04.05.01	十和田地区消防事務組合発足20周年を記念して十和田消防史刊行委員会を設置
H04.07.02	副管理者に六戸町長苫米地繁雄氏就任
H04.07.14	十和田湖消防署に指揮車配置
H04.07.29	消防本部に査察広報指導車配置
H04.08.28	十和田消防署、十和田湖消防署及び六戸消防署に査察広報車配置
H04.10.11	管理者に十和田市長水野好路氏就任
H04.12.24	十和田湖畔休屋地区消防臨時出張所に水槽付消防ポンプ自動車配置
H05.03.25	十和田消防史刊行

年月日	事	項
H05.03.29	十和田湖畔休屋地区消防臨時出張所に救急自動車配置（青森県共済農業協同組合連合会寄贈）	
H05.03.31	十和田湖消防署湖畔出張所開所式挙行	
H05.04.01	十和田湖消防署湖畔出張所業務開始	
H05.10.04	十和田消防署にはしご付消防ポンプ自動車配置	
H05.11.19	十和田消防署に水槽付消防ポンプ自動車配置	
H06.03.22	収入役に十和田市収入役川村操氏就任	
H06.04.01	女性救急救命士誕生	
H06.08.08	十和田湖消防署湖畔出張所に小型消防救助艇配置	
H06.09.13	六戸消防署に指揮車配置	
H06.12.01	女性救急救命士、隔日勤務実施	
H06.12.06	十和田消防署に高規格救急自動車配置	
H07.02.01	消防長に中野渡春雄氏就任	
H07.03.03	十和田消防署に水槽付消防ポンプ自動車配置（日本損害保険協会寄贈）	
H07.03.22	十和田消防署に指揮車配置	
H07.06.30	組合議会議長に織川貴司氏、副議長に金崎盛三氏選出	
H07.12.14	十和田湖消防署に高規格救急自動車配置（社団法人日本自動車工業会寄贈）	
H08.01.28	副管理者に六戸町長吉田豊氏就任	
H08.02.21	六戸消防署に水槽付消防ポンプ自動車配置	
H08.06.28	十和田消防署に空気充填車配置	
H08.10.01	消防職員委員会設置	
H09.01.29	消防本部のミニ消防車更新	
H09.01.30	消防本部の指令車更新	
H09.03.31	湖畔出張所に指揮車配置	
H09.09.24	消防長に辻祐二氏就任	
H09.11.14	副管理者に十和田市助役斎藤一友氏就任	
H09.11.26	六戸消防署に高規格救急自動車配置	
H10.04.01	構成市町の十和田市、六戸町小中学校の学校給食業務を新たに実施していくため複合事務組合へ移行、名称を十和田地域広域事務組合に変更	

年月日	事 項
H10.07.26	管理者に十和田市長中野渡春雄氏就任
H11.01.01	副管理者に十和田市助役千葉義弘氏就任
H11.06.04	組合議会議長に江渡龍博氏、副議長に野月誠氏選出
H11.08.09	消防本部に人員搬送車（マイクロバス）配置
H11.12.09	湖畔出張所に高規格救急自動車配置
H12.04.01	組合を1市4町2村で構成し、新たに清掃・火葬業務を実施 消防事務（十和田市、十和田湖町、六戸町） 給食事務（十和田市、六戸町） 清掃事務（十和田市、十和田湖町、六戸町、下田町、五戸町、 倉石村、新郷村） 火葬事務（十和田市、十和田湖町、六戸町、下田町）
H13.04.01	消防長に江渡義夫氏就任
H13.07.06	副管理者に十和田市助役林哲夫氏就任
H13.07.06	十和田消防署に査察広報車配置
H13.11.01	十和田消防署に小型動力ポンプ付水槽車（10,000ℓ）配置
H14.02.28	六戸消防署完成
H14.03.20	十和田消防署に査察広報車配置
H14.03.26	六戸消防署落成式
H14.03.30	六戸消防署業務開始
H14.09.20	収入役に十和田市収入役中野信一氏就任
H15.06.04	組合議会議長に野月忠見氏、副議長に下田楨男氏選出
H15.12.26	通信指令施設の地図等検索装置及び指令電送装置更新
H16.09.28	通信指令施設の自動出動指定装置及び署所端末等更新
H17.01.01	十和田市と十和田湖町が合併し、市名を「十和田市」とする 管理者職務代理者に新郷村長細川潤八郎氏就任
H17.01.31	管理者に十和田市長中野渡春雄氏就任
H17.02.16	組合議会議長に石橋義雄氏選出
H17.03.28	副管理者に十和田市助役気田武夫氏就任 収入役に十和田市収入役大川晃氏就任
H17.04.01	消防長に杉山訓氏就任
H17.12.21	十和田消防署に高規格救急自動車配置
H19.02.27	組合議会議長に赤坂孝悦氏選出

年月日	事 項
H19.03.15	十和田消防署に救助工作車（Ⅲ型）配置
H19.04.01	消防長に前川原正仁氏就任
H20.06.14	岩手・宮城内陸地震発生（十和田市、六戸町 震度3）緊急消防援助隊として6月14日から15日までの2日間岩手県奥州市へ出動する
H21.01.30	管理者に十和田市長小山田久氏就任
H21.04.01	消防長に小笠原今朝雄氏就任
H21.07.01	副管理者に十和田市副市長小久保純一氏就任
H22.04.01	消防長に中野渡章氏就任
H23.02.22	組合議会議長に野月忠見氏選出
H23.03.11	東北地方太平洋沖地震発生（十和田市、六戸町 震度5弱）緊急消防援助隊として3月14日から28日までの15日間岩手県久慈市、野田村へ出動する
H23.03.15	十和田消防署の化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新
H24.02.02	十和田消防署の高規格救急自動車更新
H24.03.15	消防本部の査察指導車更新
H25.02.08	十和田湖消防署の指揮車更新
H25.03.08	十和田消防署に支援車配置
H25.03.12	十和田湖消防署の高規格救急自動車更新
H25.03.28	上十三地域4消防本部消防通信指令事務協議会の設置に関する協議書を締結
H25.04.01	副管理者に十和田市副市長西村雅博氏就任
H25.04.01	消防長に沼田隆志氏就任
H25.04.01	上十三地域4消防本部消防通信指令事務協議会を発足
H25.12.02	六戸消防署の高規格救急自動車更新
H26.02.18	十和田消防署の水槽付消防ポンプ自動車更新
H26.02.28	十和田消防署の指揮車更新
H26.08.18	十和田湖消防署・六戸消防署の査察広報車更新
H27.02.24	組合議会議長に小川洋平氏選出
H27.04.01	消防長に中居雅俊氏就任
H27.11.18	十和田湖消防署湖畔出張所の高規格救急自動車更新

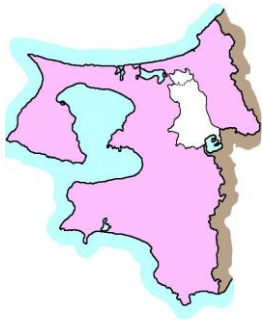
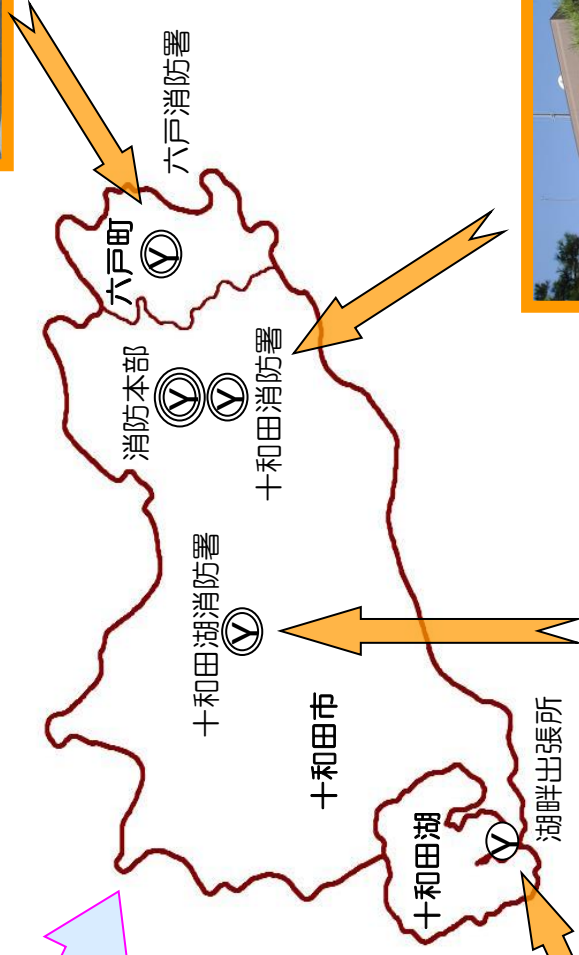
年月日	事 項
H28.01.25	六戸消防署の指揮車更新
H28.04.01	上十三地域4消防本部（十和田地域広域事務組合消防本部、三沢市消防本部、北部上北広域事務組合消防本部、中部上北広域事業組合消防本部）による「上十三消防指令センター」の正式運用開始
H28.04.01	消防長に東大野達也氏就任
H28.08.23	消防本部の災害対応車更新
H28.08.31	台風10号発生に伴い緊急消防援助隊として8月31日から9月9日までの10日岩手県久慈市、岩泉町へ出動する
H29.03.01	十和田湖消防署の水槽付消防ポンプ自動車更新
H30.01.23	消防救助訓練施設（工作物）完成
H30.09.06	北海道胆振東部地震発生（十和田市、六戸町 震度3）緊急消防援助隊として9月6日から10日までの5日間北海道厚真町へ出動する
H31.02.22	組合議会議長に豊川泰市氏選出
H31.03.25	六戸消防署の水槽付消防ポンプ自動車更新
H31.04.01	消防長に高森仁史氏就任
R1.10.13	台風19号発生に伴い緊急消防援助隊として10月13日から18日までの6日間宮城県伊具郡丸森町へ出動する
R2.02.21	十和田消防署の水槽付消防ポンプ自動車更新
R2.02.25	十和田消防署の高規格救急自動車更新
R3.03.01	十和田湖消防署完成
R3.03.02	十和田消防署のはしご付消防ポンプ自動車更新
R3.03.23	副管理者に十和田市副市長北舘康宏氏就任
R3.03.25	十和田湖消防署落成式
R3.04.01	十和田湖消防署業務開始
R3.04.01	消防長に寺地充宏氏就任
R4.03.18	十和田消防署の資材搬送車更新
R4.03.25	十和田消防署の高規格救急自動車更新

総務編



写真：十和田湖消防署

消防本部管内図



十和田地域広域事務組合消防本部

北緯 40° 36' 42"
東経 141° 12' 46"
海拔 169.4m

所在地 青森県十和田市西二番町7番10号



消防庁舎施設

令和4年4月1日現在

区分 所属・所在地	庁舎概要		
	面積	構造、室名等	竣工年月 平成4年3月
消防本部 十和田消防署 〒034-0082 青森県十和田市西二番町 7番10号 電話 消防本部 代表 0176-25-4111 警防課 0176-25-4112 予防課 0176-25-4113 十和田消防署 0176-25-4115 消防団係(十和田市) 0176-58-0130 FAX 消防本部 0176-25-4117 十和田消防署 0176-24-0194 テレホンサービス 0176-22-9922	敷地面積	2,784.600㎡	鉄筋コンクリート造・3階建
	庁舎面積		1階：署長室、待機室、消防隊仮眠室、救急隊仮眠室、器具庫、 充電室、殺菌室、車庫、シャワー室、洗面所、湯沸室、 男子便所、女子便所
	1階	1,014.015㎡	男子便所、女子便所
	2階	1,096.320㎡	2階：消防長室、次長室、本部事務室、第1会議室、図書室、 第2会議室、書庫、倉庫、印刷室、調査室、休養室、
	3階	843.870㎡	男子更衣室、女子更衣室、炊事室、食堂、男子便所、 女子便所、湯沸室
	PH	37.800㎡	
	延面積	2,992.005㎡	3階：通信指令室、指令事務室、指令仮眠室、通信機械室、 ロビー、講堂、用具庫、湯沸室、機械室、電気室、 非常用発電機室、男子便所、女子便所
	消防訓練塔		鉄筋コンクリート造・7階建
	1～7階	48.000㎡	1階：耐煙耐熱検索迷路室 5階：放水・梯子架梯訓練室
	PH塔屋	3.570㎡	2階：警報設備室、水消火設備室 6階：高所放水訓練室
延面積	339.570㎡	3階：救助訓練室 7階：中高層防御訓練室 4階：救助・避難・破壊訓練室 PH塔屋	
第2車庫・副塔		鉄骨造・2階建及び鉄筋コンクリート造・3階建	
1、2階	205.700㎡	第2車庫 1階：車庫 2階：倉庫	
1階	98.900㎡	副塔 1階：車庫、訓練資機材収納室、ホース乾燥室	
2階	88.900㎡	2階：ネット室、倉庫	
3階	29.500㎡	3階：救助訓練室	
延面積	628.700㎡		
油庫・ゴミ集積所		補強コンクリートブロック造・平屋建	
延面積	13.320㎡	油庫 9.72㎡、ゴミ集積所 3.6㎡	
自転車置場		鉄骨造・平屋建	
延面積	28.000㎡	14m×2m	
工 作 物			
名 称		構 造 等	竣工年月 平成30年1月
消防救助訓練施設		鉄骨造 高さ9.05m	

区分 所属・所在地	庁舎概要		
	面積	構造、室名等	竣工年月 令和3年3月
十和田湖消防署 〒034-0301 青森県十和田市大字奥瀬字下川目126番地1 電話 0176-72-2241 FAX 0176-72-2351	敷地面積	8,517.510㎡	鉄骨造・一部2階建
	庁舎面積		
	1階	721.470㎡	1階：署長室、待機室（食堂）、事務室、防火相談室、車庫、防火衣着装室、仮眠室、女性専用室（仮眠室・シャワー室）洗面所・シャワー室
	2階	140.050㎡	2階：会議室、トレーニング室、書庫
	延面積	861.520㎡	
	訓練塔		鉄骨造・4階建
	延面積	126.270㎡	

区分 所属・所在地	庁舎概要		
	面積	構造、室名等	竣工年月 平成4年4月
十和田湖消防署湖畔出張所 〒018-5501 青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486番地 電話 0176-75-1011 FAX 0176-75-1013	敷地面積	488.520㎡	鉄骨造・2階建
	庁舎面積		
	1階	179.100㎡	1階：事務室、車庫、物置、油庫、台所、シャワー室、便所、ボイラー室
	2階	41.850㎡	2階：仮眠室、物置
	延面積	220.950㎡	

区分 所属・所在地	庁舎概要		
	面積	構造、室名等	竣工年月 平成14年2月
六戸消防署 〒039-2371 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字下久保174番地472 電話 0176-55-2016 FAX 0176-55-5111	敷地面積	3,843.300㎡	鉄筋コンクリート造・2階建
	庁舎面積		
	1階	583.850㎡	1階：署長室、事務室、待機室、仮眠室、シャワー室、湯沸室、消防隊仮眠室、消毒室、倉庫、物置、男子便所、車庫女子便所、身障者便所
	2階	374.110㎡	2階：大会議室、トレーニング室、機材庫、談話室、湯沸室、ロッカー室、車庫、男子便所、女子便所
	延面積	957.960㎡	
	消防訓練塔		鉄筋コンクリート造・5階建
	延面積	134.880㎡	

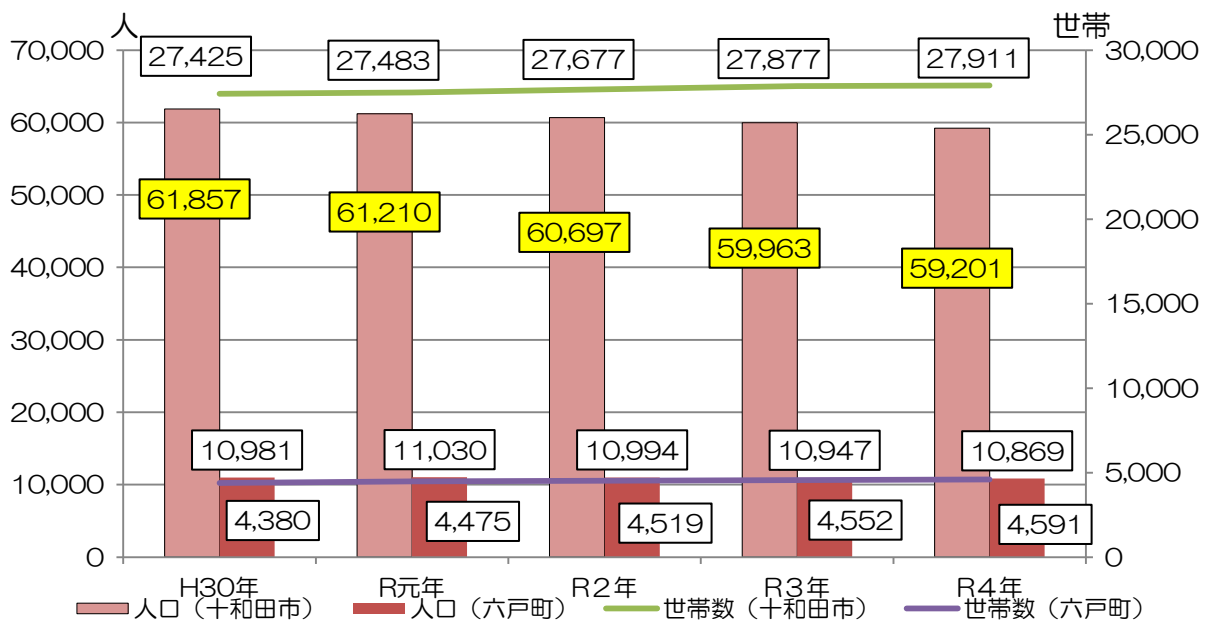
構成市町の概要

令和4年4月1日

区分 市町別	面積 (k㎡)	世帯数	人口	人口密度等(1k㎡当たり)	
				世帯数	人口
十和田市	725.65	27,911	59,201	38.46	81.58
六戸町	83.89	4,591	10,869	54.72	129.56
合計	809.54	32,502	70,070	40.14	86.55

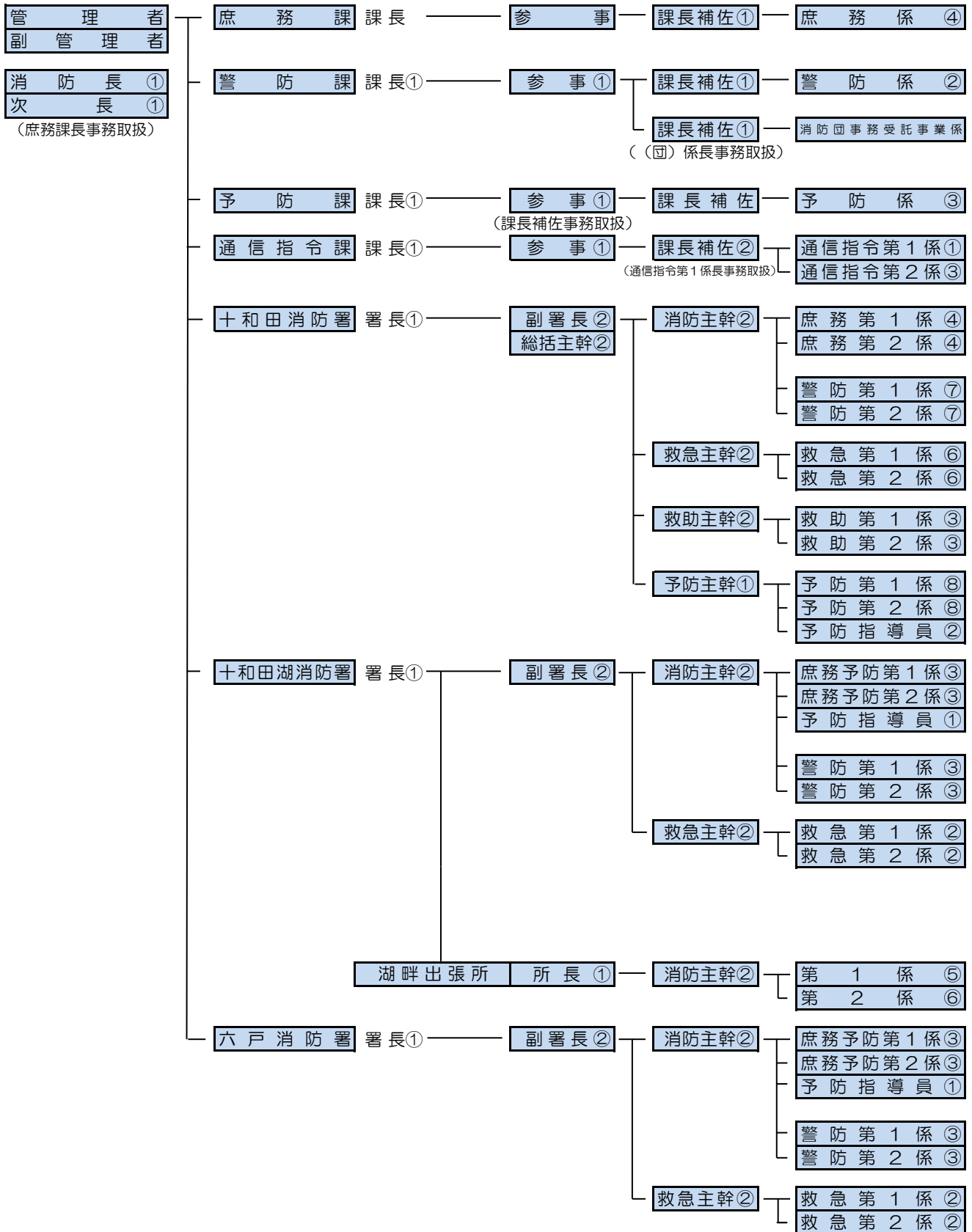
構成市町の人口・世帯数の推移

令和4年4月1日



消防本部組織図

(条例定数 161人 実員 158人) 令和4年4月1日現在
 ※実員158人のうち1人は、消防団事務に従事している職員である。



消防職員の配置状況

令和4年4月1日現在

階級別 所属別	消 防 吏 員							合 計
	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
庶 務 課	1	1		3		2		7
警 防 課		1	1	4				6
予 防 課		1	1	1		2		5
通 信 指 令 課		1	1	3	1	2		8
十 和 田 消 防 署		1	4	28	9	17	11	70
十 和 田 湖 消 防 署		1	2	13	2	4	2	24
湖 畔 出 張 所			1	6	2	5		14
六 戸 消 防 署		1	2	14	1	4	2	24
合 計	1	7	12	72	15	36	15	158

※消防職員158人のうち1人は、消防団事務に従事している職員である。

消防職員の階級別勤続年数状況

令和4年4月1日現在

階級別 年数別	消 防 吏 員							合 計
	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
5 年 未 満							12	12
5 以 上 ～ 10 未 満						7	3	10
10 以 上 ～ 15 未 満					7	20		27
15 以 上 ～ 20 未 満				7	6	9		22
20 以 上 ～ 25 未 満				13	2			15
25 以 上 ～ 30 未 満			1	26				27
30 年 以 上	1	7	11	26				45
合 計 (人)	1	7	12	72	15	36	15	158
平 均 (年)	33.0	33.8	32.7	27.3	16.0	12.4	2.8	21.2

※消防職員158人のうち1人は、消防団事務に従事している職員である。

消防職員の階級別年齢状況

令和4年4月1日現在

階級別 年齢別	消 防 吏 員							合 計
	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
18 ~ 20							3	3
21 ~ 22							4	4
23 ~ 24							2	2
25 ~ 26							3	3
27 ~ 28							2	2
29 ~ 30						3		3
31 ~ 32						9	1	10
33 ~ 34						7		7
35 ~ 36					1	15		16
37 ~ 38					10	2		12
39 ~ 40				3	3			6
41 ~ 42				6	1			7
43 ~ 44				4				4
45 ~ 46				10				10
47 ~ 48				15				15
49 ~ 50				13				13
51 ~ 52			1	10				11
53 ~ 54			9	5				14
55 ~ 56		3	1	2				6
57 ~ 58	1	4						5
59 ~ 62			1	4				5
合 計 (人)	1	7	12	72	15	36	15	158
平 均 (歳)	57.0	56.4	54.0	48.3	38.0	33.8	23.6	42.1

※消防職員158人のうち1人は、消防団事務に従事している職員である。

消防職員の研修状況

件名	年度		H29	H30	R元	R2	R3
青森県消防学校	初 任 教 育			2	3	4	
	専 科 教 育	警 防 科		4		2	3
		特 殊 災 害 科	2		2	2	
		予 防 査 察 科	4		4	4	
		火 災 調 査 科		4	3	2	3
		救 急 科		1	1	3	
		救 助 科	4	4	3		3
		危 険 物 科	1		1		
	幹 部 教 育	中 級 幹 部 科	1	1	1	1	1
特 別 教 育	災 害 対 策 科						
消 防 大 学 校	消 防 長 科						
	警 防 科			1			
	予 防 科		1				
	火 災 調 査 科						1
	救 助 科				1		
	違 反 是 正 特 別 講 習						
救 急 関 係	救 急 救 命 東 京 研 修 所		1	1			
	救 急 救 命 九 州 研 修 所 (指 導 救 命 士 養 成 研 修)			1		1	
	救 急 救 命 士 気 管 挿 管 病 院 実 習		3	10	9	6	9
	全 国 救 急 隊 員 シ ン ポ ジ ウ ム		1		1	※	※
救 助 関 係	玉 掛 け 講 習 会		2	2	2	2	2
	ク レ ー ン 講 習 会		2	2	2	2	2
	潜 水 士 実 技 講 習 会		2	2	2	2	1
	小 型 船 舶 講 習 会					2	4
	全 国 消 防 救 助 シ ン ポ ジ ウ ム			1		※	※
そ の 他	財 務 実 務 研 修 会			1	1		
	総 務 関 係 実 務 講 習 会		1				
	予 防 広 報 講 習 会		1	1	十和田市 開催		※
	警 防 実 務 研 究 会		1	1			
	全 国 消 防 技 術 者 会 議				1	※	※
	予 防 技 術 講 習 会			1	1		
	自 動 車 安 全 運 転 セ ン タ ー (消 防 ・ 救 急 自 動 車 運 転 技 能 者 課 程)						

※新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンライン開催となったものへ参加した。

消防職員の資格取得状況

令和4年4月1日現在

資 格 区 分			取 得 者 数
自 動 車 免 許	第 1 種	大 型	141
		中 型	4
		特 殊	50
		牽 引	25
救 急 救 命 士			36
救 急 隊 員 資 格 取 得 者 (救 急 救 命 士 除 く)			110
応 急 手 当 指 導 員			61
看 護 師			1
准 看 護 師			2
潜 水 士			42
予 防 技 術 資 格 認 定 者		防 火 査 察	39
		消 防 用 設 備 等	17
		危 険 物	17
危 険 物 取 扱 者		甲 種	1
		乙 種	34
		丙 種	26
消 防 設 備 士		乙 種	4
2 級 小 型 船 舶 操 縦 士			107
衛 生 管 理 者			6
電 気 工 事 士			5
ポ イ ラ ー 技 士		2 級	2
陸 上 特 殊 無 線 技 士			152
ア マ チ ュ ア 無 線 技 士			9
ガ ス 溶 接 技 能 者			7
小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転 技 能 者			64
玉 掛 技 能 者			58
小 型 車 両 系 建 設 機 械 運 転 資 格 者			28
可 搬 消 防 ポ ン プ 整 備 資 格 者			2
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者			18
情 報 処 理	2 種		3
	検 定 級	1 級	2
		2 級	13
		3 級	6

消防予算

1. 歳 入

(単位：千円)

	令和4年度予算額 (A)	令和3年度予算額 (B)	比 較 (A - B)
分担金及び負担金	1,582,580	1,507,053	75,527
使用料及び手数料	2,136	3,078	△ 942
財産収入	21	17	4
繰入金	7,586	3,589	3,997
繰越金	1	10	△ 9
諸収入	7,676	7,947	△ 271
組合債	22,200	35,900	△ 13,700
歳入合計	1,622,200	1,557,594	64,606

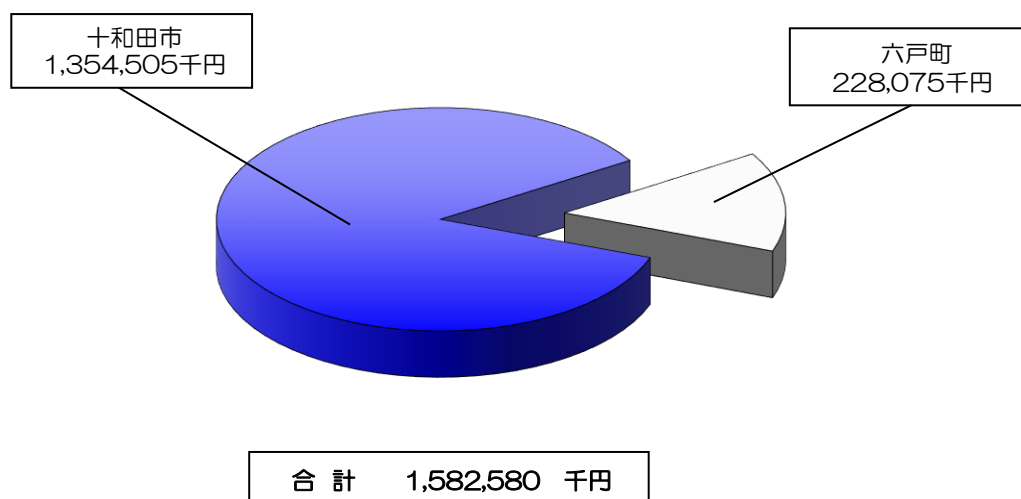
2. 歳 出

(単位：千円)

	令和4年度予算額	令和4年度予算額の財源内訳			
		特 定 財 源			一 般 財 源
		国県支出金	地方債	その他	
消 防 費	1,461,292		22,200	17,399	1,421,693
公 債 費	158,888				158,888
諸 支 出 金	20			20	
予 備 費	2,000				2,000
歳出合計	1,622,200		22,200	17,419	1,582,581

構成市町負担金状況

令和4年度



人口・世帯数に対する消防予算の状況

区分 年度	消防予算 (千円)	人 口	世 帯	1人当たりの 額 (円)	1世帯当たりの 額 (円)
平成19年	1,453,820	78,246	29,907	18,580	48,611
平成20年	1,429,418	77,425	29,951	18,462	47,725
平成21年	1,688,815	76,917	30,051	21,956	56,198
平成22年	1,475,943	76,558	30,209	19,279	48,858
平成23年	1,413,449	76,218	30,387	18,545	46,515
平成24年	1,424,991	75,648	30,563	18,837	46,625
平成25年	1,529,172	75,288	30,708	20,311	49,797
平成26年	2,599,186	74,985	30,902	34,663	84,111
平成27年	2,756,830	74,491	31,072	37,009	88,724
平成28年	1,519,225	73,912	31,463	20,555	48,286
平成29年	1,453,034	73,500	31,628	19,769	45,941
平成30年	1,565,171	72,838	31,805	21,488	49,211
令和元年	1,620,612	72,240	31,958	22,434	50,711
令和2年	2,463,287	71,691	32,196	34,360	76,509
令和3年	1,557,594	70,910	32,429	21,966	48,031



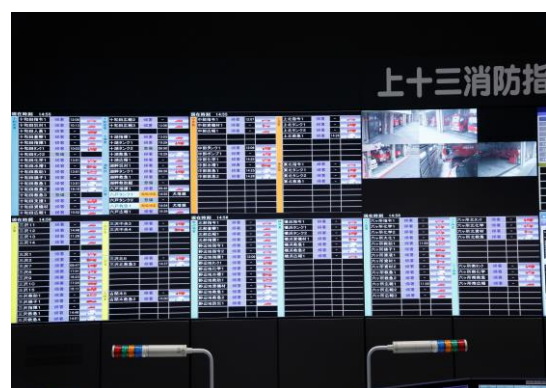
上十三地域を管轄する4消防本部が消防通信指令業務の高度化並びに消防力の充実を図るため、平成28年4月1日から「上十三消防指令センター」の共同運用を開始し、年間約10,000件の119番通報を受信している。

高機能消防指令台を導入したことにより、固定電話やIP電話からの通報ではピンポイントで場所を特定することが可能となり、GPS機能付きの携帯電話やスマートフォンからの通報では数十mの誤差で通報場所が分かり、119番通報の受信から出動指令までが短縮された。さらに、聴覚や発声・言語機能に障害のある方はFAXからの119番通報に限られていたが、「NET119」の導入により携帯電話やスマートフォンからの通報が可能となった。

また、平成30年4月1日に運用が開始された「多言語通訳サービス」は現在21カ国語を通訳することができ、インバウンド観光客等からの119番通報にも迅速に対応することが可能となり、119番通報の多様化を実現した。



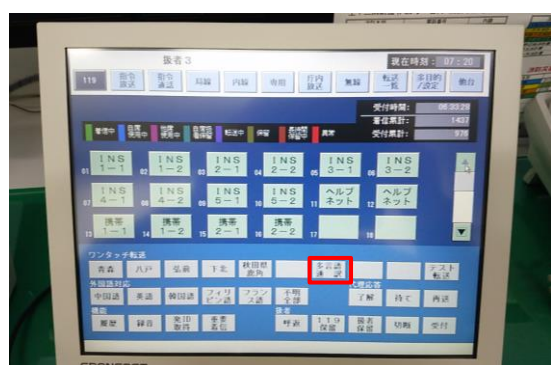
自動出動指定装置・地図等検索装置・支援情報検索装置



車両運用表示盤



NET119受信装置



多言語通訳コールセンター転送装置（LCDモニター）

通信指令施設等設置状況

令和4年4月1日現在

種 別	配置場所	上 十 三 消 防 指 令 セ ン タ ー	十 和 田 消 防 本 部	十 和 田 消 防 署	十 和 田 湖 消 防 署	湖 畔 出 張 所	六 戸 消 防 署	合 計	
		有 線	火災・救急専用電話	固定 119番	10				
携帯 119番	4								4
NET 1 1 9	1								1
FAX 1 1 9	1								1
そ の 他	1								1
一 般 加 入 電 話	一 般		2	3	3	2	2	2	14
	F A X		1	1	1	1	1	1	6
	着 信 専 用		5						5
順 次 指 令 装 置	台 数		1						1
	回 線		3						3
テレホンサービス (NTTト-キ-)	台 数		1						1
	回 線		18						18
指 令 情 報 送 信 装 置	回 線		1						1
指 令 情 報 出 力 装 置	回 線				1	1	1	1	4
署 所 端 末 装 置	回 線				1	1	1	1	4
専 用 回 線	東 北 電 力		1						1
	十 和 田 ガ ス		1						1
市 役 所 内 線 電 話				6					6
青 森 県 救 急 医 療 情 報					1				1
青 森 県 防 災 情 報 網 絡 シ ス テ ム ・	各 (端 共 末 用 装 置)			1式				1	
	衛 星 電 話			1				1	
	青 森 県 防 災 情 報 機			1				1	
	テ レ ビ 受 像 機			1				1	
J - A L E R T				1式				1	

消防緊急通信指令施設等の機器構成

上十三消防指令センター

令和4年4月1日現在

機 器 名	数量	備 考
1 指令装置		
(1) 指令台	3台	4画面構成、2事案対応
(2) 自動出動指定装置		
ア 制御処理装置	1式	現用予備、二重化構造
イ 自動出動ディスプレイ	3台	23型ワイド液晶タッチモニタ
(3) 地図等検索装置		
ア 地図等検索装置	3台	共用モード機能付
イ 地図用ディスプレイ	3台	23型ワイド液晶タッチモニタ
(4) 支援情報検索装置		
ア 支援情報検索端末装置	6台	
イ 支援情報用ディスプレイ	6台	23型ワイド液晶タッチモニタ
(5) 長時間録音装置	1式	デジタル式
(6) 非常用指令設備	1式	
(7) 指令制御装置	1式	自立型、二重化構造
(8) 携帯電話・IP電話受信転送装置	1式	
(9) プリンタ	1台	A3モノクロ
(10) カラープリンタ	1台	A3カラー
(11) スキャナ	1台	A3版対応
(12) 署所端末装置	4式	
(13) 署所端末受令機		
ア 署所端末受令機	4台	
イ スリープアンテナ	4基	2.15dBi
(14) 駆込通報装置	4式	電話、Box
2 指揮台		
(1) 指揮台	1台	4画面構成、2事案対応
(2) 自動出動ディスプレイ	1面	23型ワイド液晶タッチモニタ
(3) 地図検索装置	1台	共用モード機能付
(4) 地図用ディスプレイ	1面	23型ワイド液晶タッチモニタ
(5) 支援情報検索装置	2台	輻輳時、自動出動指定装置及び地図検索装置相当
(6) 支援情報用ディスプレイ	2台	23型ワイド液晶タッチモニタ
3 表示盤		
(1) 車両運用表示盤	1面	46型4面マルチ表示盤スリムベゼル
(2) 支援情報表示盤	1面	46型4面マルチ表示盤スリムベゼル
(3) 多目的情報表示盤		
ア 多目的情報表示盤	1面	46型4面マルチ表示盤スリムベゼル
イ 映像制御装置	1式	RGB系、NTSC系・コンテンツ系
(4) 情報表示盤	1式	46型液晶モニタ
(5) 重要着信表示灯	5式	
4 無線統制台		
無線統制台（指令機能付）	1台	指令台同機能型
5 指令伝送装置	6台	
(1) 指令情報送信装置	1式	光ネットワーク接続（広域イーサ網）
(2) 指令情報出力装置	4式	単独地図検索機能付

機 器 名	数量	備 考
(3) 指令情報モニタ装置	1式	i-FAX伝送機能付
(4) 署所用情報表示盤	1式	32型液晶モニタ
(5) 署所用情報表示盤	2式	40型液晶モニタ
(6) 署所用情報表示盤	2式	50型液晶モニタ
(7) 署所用情報表示盤	1式	60V型ワイドタッチパネル対応
(8) ネットワーク機器		
署所用	4式	回線多重化装置
6 気象情報収集装置		
(1) 発信機		
ア 風向風速計	1台	
イ 温度計	1台	
ウ 湿度計	1台	
エ 雨量計	1台	
オ 気圧計	1台	
カ 強制通風シエルタ	1台	
キ 発信器取付支柱	1基	
(2) 変換器		
ア データロガー	1式	
イ 処理装置	1式	
ウ GPS時計装置	1式	
(3) 気象Webサーバ	1式	
7 災害情報等自動案内装置	1式	音声合成自動連動型
8 順次指令装置	1式	音声合成自動連動型
9 音声合成装置	1式	
10 出動車両運用管理装置		高速パケット通信サービス用端末 (FOMA相当)、デジタル無線対応型
(1) 管理装置	1式	Ⅲ型、直近編成機能付
(2) 車両運用端末装置	4台	Ⅱ型、1画面、地図指令表示付
(3) 車両運用端末装置	5台	Ⅲ型、2画面、地図指令表示付
(4) 車両運用端末装置	20台	Ⅲ型、1画面、地図指令表示付
(5) 車外設定端末装置	11台	2個/1組、動態数6
(6) 高速パケット通信サービス用端末	29組	FOMA
(7) 高速無線LAN送受信装置	5台	
11 システム監視装置	1式	
12 データメンテナンス装置	2式	
13 電源設備		
(1) 無停電電源装置 (センター用)	2式	
(2) 無停電電源装置 (署所用)	5式	
(3) 直流電源装置 (センター用)	1式	48V系、停電補償6時間以上
(4) 非常用発電機 (センター用)	1式	75kVA、油庫90L、防油堤含む
14 統合型位置情報通知装置	1式	固定・IP・携帯電話通報
15 FAX119番受信装置	1式	
16 Webメール119番受信装置	1式	NET119
17 メール指令装置	1式	Eメール一斉指令、地図付

機 器 名	数量	備 考
18 指令情報支援システム		
（1）消防情報管理装置	1 式	Webサーバ
（2）業務パッケージソフト	1 式	フルパッケージ
19 避雷設備		
（1）高速避雷器（センター用）	1 式	電源、回線避雷器
（2）高速避雷器（署所用）	4 式	電源、回線避雷器
20 構内自動電話交換設備		
（1）IP交換機	1 式	IP対応型
（2）多機能電話	9 台	IP対応型
21 監視カメラ	5 式	Web方式
22 J-ALERT連動装置	1 式	
23 分電盤他付帯設備	1 式	
24 衛星携帯電話	6 台	
25 映像伝送装置	6 台	

通信施設（無線）

基地局

令和4年4月1日現在

名称	波数	電波の通称	電力
とわだしょうぼう	7	活動波 1	10W
		活動波 2	
		活動波 3	
		主運用波	
		統制波 1	
		統制波 2	
		統制波 3	
とわだやけやま	7	活動波 1	10W
		活動波 2	
		活動波 3	
		主運用波	
		統制波 1	
		統制波 2	
		統制波 3	
とわだこはん	6	活動波 1	5W
		活動波 3	
		主運用波	
		統制波 1	
		統制波 2	
		統制波 3	

遠隔制御装置・移動局無線装置・署活系無線

署所	種別 遠隔制御装置	移動局無線装置			署活系無線
		卓上型無線装置	車載型無線局	携帯型無線局	
十和田消防本部	1	1	4	4	4
十和田消防署	1	0	15	11	28
十和田湖消防署	1	1	5	5	11
湖畔出張所	1	0	3	3	5
六戸消防署	1	1	5	5	11
合計	5	3	32	28	59

無線局系統図・置局図

令和4年4月1日現在



凡 例			
	消防本部		基地局
	消防署		遠隔制御装置
	出張所		卓上型無線装置

署所名	呼出名称
上十三消防指令センター	かみとおさんしょうぼうしれいせんたー
十和田消防本部	とわだしょうぼう2
十和田消防署	とわだしょうぼう1
十和田湖消防署	とわだこしょうぼう
湖畔出張所	こはんしょうぼう
六戸消防署	ろくのへしょうぼう

災害等受信状況

令和3年

区分	覚知種別	119番 報知電話			その他		合 計
		固定電話	IP電話	携帯電話	加入電話	無線ほか	
	火災	11	7	17	5	5	45
	救急	451	336	682	370	35	1,874
	救助	4	3	24	8	10	49
	PA連携	148	134	247	27	65	621
	警戒・調査等	14	7	27	100	9	157
その他の 119番	間違い	39	18	9	1	1	68
	いたずら	3	0	0	0	0	3
	重複	21	18	15	3	4	61
	訓練（通報）	36	22	3	0	0	61
	信号のみ （無言通報）	9	0	1	0	1	11
	問合せ	33	16	19	4	0	72
	回線試験等	96	5	4	12	1	118
	その他（上記以外）	21	5	21	5	1	53
	管轄外通報（※）	1	0	4	0	0	5
	合 計	887	571	1,073	535	132	3,198

※管轄外通報は、当消防本部の管轄外で発生した災害通報であり、管轄となる消防本部へ転送したものの。

月別気象状況

令和3年

十和田消防庁舎気象情報収集装置データ

<風速> (m/s)

区分		月別											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均	風速	2.7	3.1	3.0	3.1	2.8	2.3	2.2	2.2	2.2	2.3	2.4	2.9
	風向	南西	西南西	南西	南	南西	東	北北東	東	東	南南西	南南東	西南西
瞬間	風速	25.6	23.5	19.9	21.2	22.5	16.7	15.5	19.6	20.5	16.6	19.0	25.8
最大	風向	西南西	西	西南西	南南西	西南西	西南西	南南東	北東	北西	北西	南南西	西南西

年間平均風速 2.6 m/s

年間最多風向 南南東

<気温> (°C)

区分		月別											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温		-2.3	-0.5	5.9	9.1	15.0	19.3	23.0	22.7	18.9	13.4	8.5	1.5
最高気温		9.9	12.7	19.9	23.2	26.3	34.5	34.8	34.8	28.8	27.9	19.6	14.4
最低気温		-12.9	-8.2	-5.7	-1.0	5.5	9.6	15.2	13.9	10.1	3.0	0.0	-8.2

年間平均気温 11.2 °C

年間最高気温 34.8 °C (8月3日)

年間最低気温 -12.9 °C (1月9日)

<湿度> (%)

区分		月別											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
相対湿度平均		83.0	83.1	75.9	70.8	78.9	89.6	93.3	92.6	87.8	86.9	87.6	88.0
相対湿度最高		99.8	99.8	99.8	99.8	99.8	99.9	99.9	99.9	99.9	99.7	99.2	99.1
相対湿度最小		49.4	27.4	34.8	16.4	25.5	23.9	42.9	52.2	38.6	37.3	47.6	41.5
実効湿度		83.6	83.0	76.4	70.3	77.6	88.6	93.1	93.6	86.8	87.1	87.3	87.2

年間平均相対湿度 84.8 %

年間最小相対湿度 16.4 % (4月20日)

年間最小実効湿度 53.9 % (4月22日)

<雨(雪)量> (mm)

区分		月別											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
雨量		21.5	19.5	55.5	53.5	62.0	28.0	75.0	197.0	59.0	82.5	50.5	34.5
雨日数		7	6	8	9	15	6	9	18	7	12	13	16
1時間最大雨量		2.5	3.0	6.0	5.5	4.0	5.0	7.0	12.5	6.0	13.5	8.0	3.5
1日最大雨量		9.5	16.0	34.0	19.0	15.0	10.0	22.0	68.5	21.0	49.5	16.5	7.0

年間総雨量 738.5 mm 1時間最大雨量 13.5 mm (10月5日)

年間平均1日雨量 2.0 mm 1日最大雨量 68.5 mm (8月9日)

* 雨日数は1日の雨量が0.5mm以上

上十三消防指令センターの様子



共同で管理・運営



十和田地域広域事務組合消防本部



三沢市消防本部



北部上北広域事務組合消防本部



中部上北広域事業組合消防本部

火災編



令和3年の火災件数は26件で、前年に比べ5件の減となった。

(市町別では、十和田市22件、六戸町4件)

また、人口1万人あたりの管内の出火率は3.7件で、市町別では十和田市、六戸町とも3.7件となっている。

火災種別毎にみると、“建物火災”が19件(全体の73.0%)で、前年に比べ3件の増となり、“その他火災”が4件、“林野火災”が2件、“車両火災”が1件となっている。

火災による損害額は、90,525千円であり、前年に比べ22,616千円の増となった。火災による死傷者数は13名で、前年に比べ10名の増となった。

火災発生件数を月別にみると、8月を除き毎月発生している。時間帯では、9時から12時の間が7件でもっとも多く、次に6時から9時が5件、3時から6時と12時から15時が4件発生しており、日中における火災が多い傾向であった。また、火災原因別にみると、原因の3割は“こんろ”“ストーブ”“ボイラー”の燃焼機器であった。



写真：十和田市総合防災訓練（ドローンによる運搬訓練）

火災状況

区 分	単位	対前年比			
		令和3年 (A)	令和2年 (B)	増 減 (A)-(B)=(C)	増 減 率 (C)÷(B)×100
出 火 件 数	件	26	31	△ 5	△ 16.1
建物		19	16	3	18.8
林 野		2	3	△ 1	△ 33.3
車 両		1	3	△ 2	△ 66.7
航空機		0	0	0	0
船 舶		0	0	0	0
その他		4	9	△ 5	△ 56
焼 損 棟 数	棟	38	21	17	81.0
全 焼		18	5	13	260.0
半 焼		3	3	0	0.0
部分焼		9	4	5	125.0
ぼ や		8	9	△ 1	△ 11.1
建 物 焼 損 面 積	m ²	2,630	1,577	1,053	66.8
林 野 焼 損 面 積	a	9	146	△ 137	△ 93.8
死 者	人	2	1	1	100.0
負 傷 者	人	11	2	9	450.0
罹 災 世 帯	世帯	21	10	11	110.0
全 損		9	2	7	350
半 損		3	2	1	50.0
小 損		9	6	3	50.0
罹 災 人 員	人	43	21	22	104.8
損 害 額	千円	90,525	67,909	22,616	33.3
建 物		90,003	64,764	25,239	39.0
林 野		22	108	△ 86	△ 79.6
車 両		434	2,600	△ 2,166	△ 83.3
航空機		0	0	0	0
船 舶		0	0	0	0
その他		66	437	△ 371	△ 84.9
1 件 平 均	千円	3,482	2,191	1,291	58.9
1 日 平 均	千円	248	186	62	33.3
出 火 率	件	3.7	4.3	△ 0.6	△ 14.5

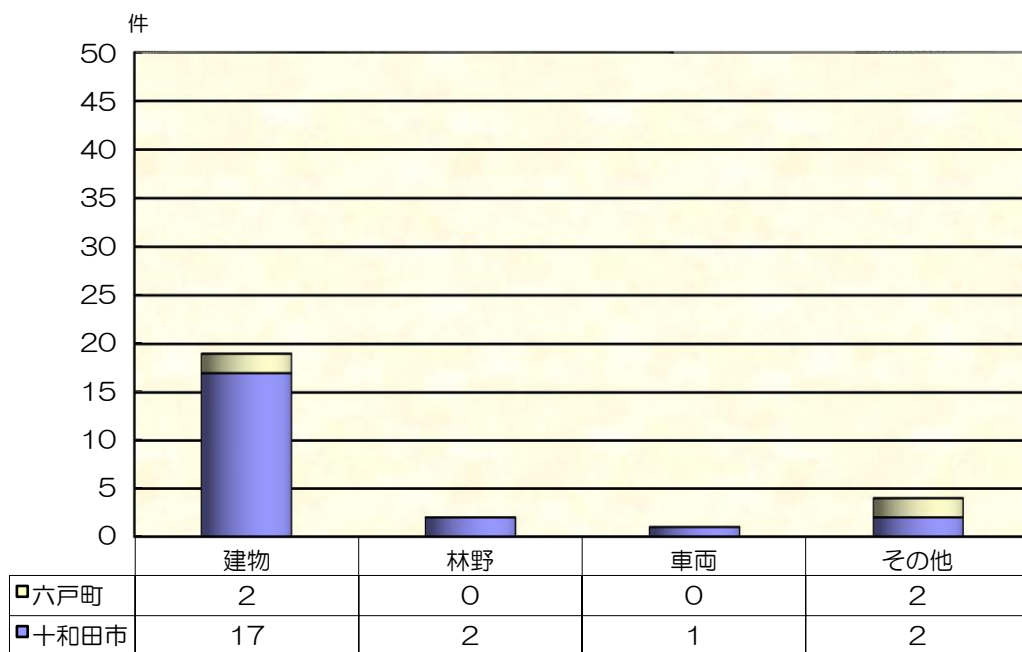
市町別火災発生状況

令和3年

区 分	単位	合 計	十和田市	六戸町
出 火 件 数	件	26	22	4
建 物		19	17	2
林 野		2	2	0
車 両		1	1	0
航空機		0	0	0
船 舶		0	0	0
その他		4	2	2
焼 損 棟 数	棟	38	33	5
全 焼		18	17	1
半 焼		3	2	1
部分焼		9	8	1
ぼ や		8	6	2
建 物 焼 損 面 積	m ²	2,630	2,566	64
林 野 焼 損 面 積	a	9	5	4
死 者	人	2	2	0
負 傷 者	人	11	9	2
罹 災 世 帯	世帯	21	19	2
全 損		9	8	1
半 損		3	3	0
小 損		9	8	1
罹 災 人 員	人	43	39	4
損 害 額	千円	90,525	86,589	3,936
建 物		90,003	86,145	3,858
林 野		22	10	12
車 両		434	434	0
航空機		0	0	0
船 舶		0	0	0
その他		66	0	66
1 件 平 均	千円	3,482	3,936	984
1 日 平 均	千円	248	237	11
出 火 率	件	3.7	3.7	3.7

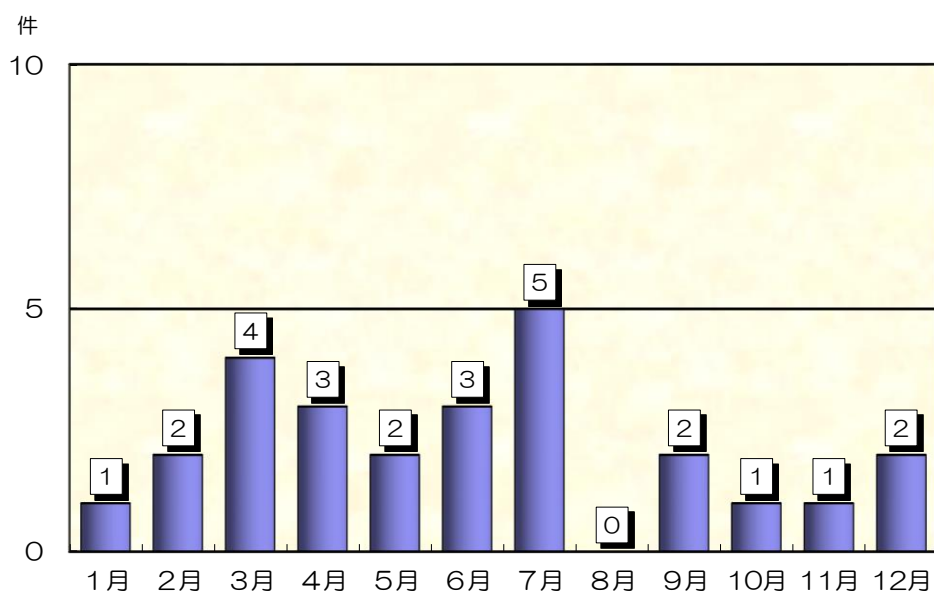
火災発生状況比較表

令和3年



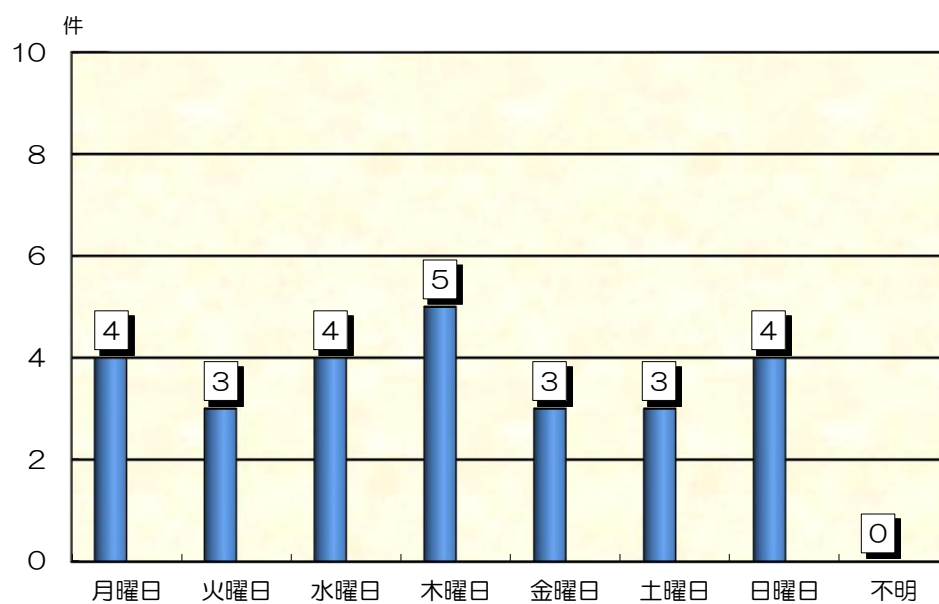
月別火災発生状況

令和3年



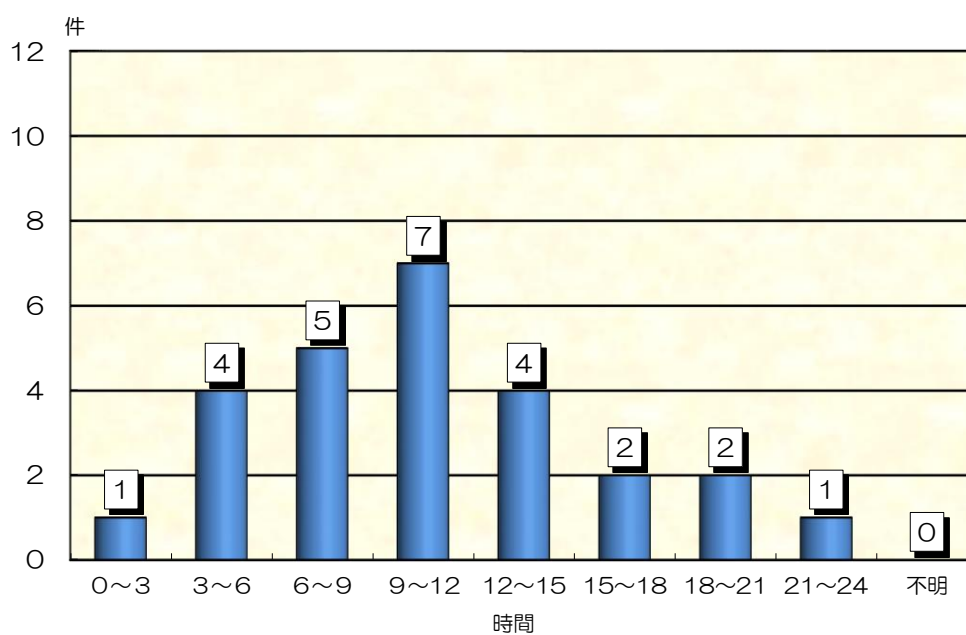
曜日別火災発生状況

令和3年

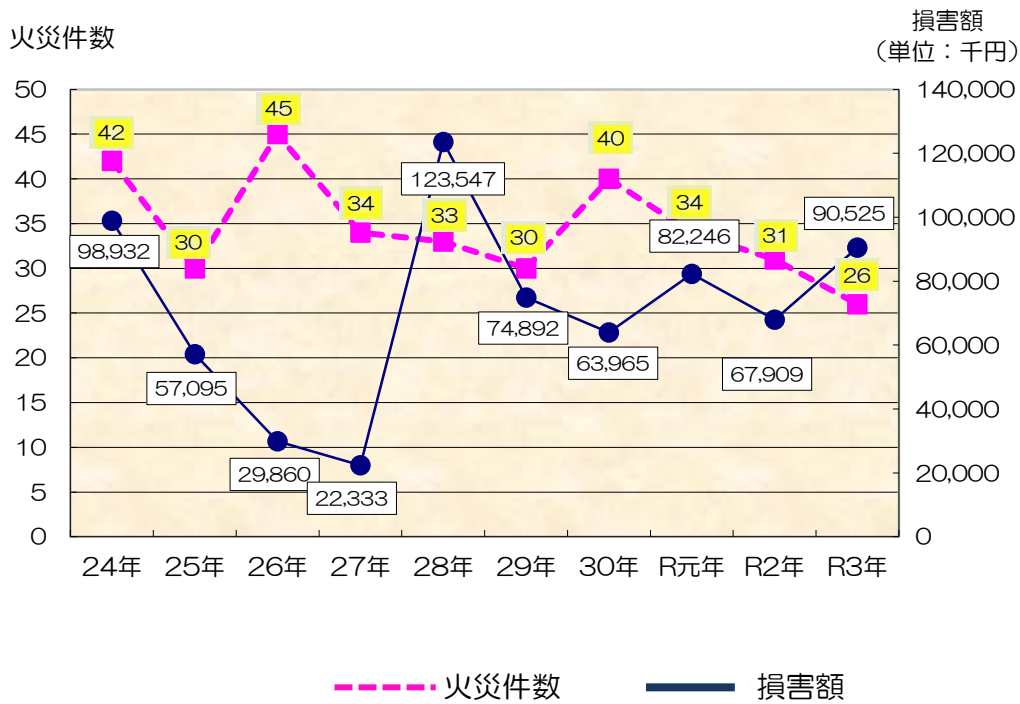


時間帯別火災発生状況

令和3年

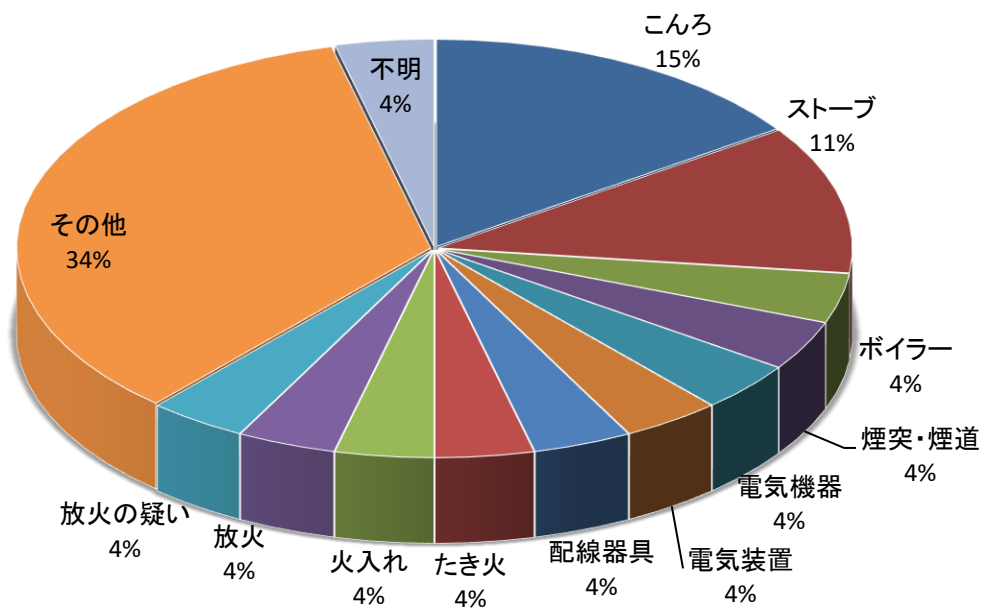


過去10年間における火災の推移



原因別火災発生割合

令和3年



過去20年間の火災状況

区分 単位 年	火 災 件 数 (件)	火災種別						焼損状況		罹災		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千円)
		建 物 (件)	林 野 (件)	車 両 (件)	船 舶 (件)	航 空 機 (件)	そ の 他 (件)	棟 数 (棟)	面 積 (㎡)	世 帯 数 (世帯)	人 員 (人)			
H15	62	39	7	5	0	0	11	57	3,568	24	73	5	5	135,474
H16	58	32	4	3	0	0	19	50	3,038	18	51	3	1	113,532
H17	46	37	2	4	0	0	3	67	6,429	24	65	5	4	161,356
H18	39	32	1	4	0	0	2	48	3,092	22	68	0	4	105,789
H19	34	21	2	2	0	0	9	33	4,482	15	39	0	5	110,218
H20	49	28	6	2	0	0	13	49	3,026	16	40	4	1	86,569
H21	45	30	6	4	0	0	5	38	2,899	21	60	2	12	81,880
H22	43	34	2	1	0	0	6	42	2,789	19	41	2	4	76,679
H23	32	15	5	4	0	0	8	26	942	13	34	2	2	34,590
H24	42	27	1	6	0	0	8	48	3,202	18	54	3	5	98,932
H25	30	20	2	4	0	0	4	37	1,750	16	34	1	0	57,095
H26	45	22	7	2	0	0	14	37	1,770	13	43	3	4	29,860
H27	34	14	6	0	0	0	14	27	1,357	9	15	1	3	22,333
H28	33	22	2	2	0	0	7	48	8,077	17	35	1	0	123,547
H29	30	14	1	7	0	0	8	20	1,642	10	25	2	3	74,892
H30	40	25	2	5	0	0	8	42	2,054	21	45	3	4	63,965
R元	34	19	6	1	0	0	8	55	3,374	21	53	2	8	82,246
R2	31	16	3	3	0	0	9	21	1,577	10	21	1	2	67,909
R3	26	19	2	1	0	0	4	38	2,630	21	43	2	11	90,525

警防・救助編



令和3年の救助出動件数は44件、救助人員は34人で、前年と比較し出動件数は7件の減少、救助人員は2人の増加となった。なお、活動件数は44件と前年と比較し6件の減少となった。

出動件数における事故種別の内訳は、“交通事故”によるものが17件、次いで“火災”が13件、“水難事故”が4件、“建物による事故”が3件、“機械による事故”が1件、“その他事故”が6件となっている。“交通事故”による救助出動の割合は全体の39%で、昨年まで約半数を占める割合であったが13年ぶりに大きく下回った。

救助人員の内訳は、“交通事故”が20人、次いで“その他事故”が5人、“水難事故”が4人、“火災”が2人、“機械による事故”が1人となっている。



写真：救命索発射銃取扱訓練

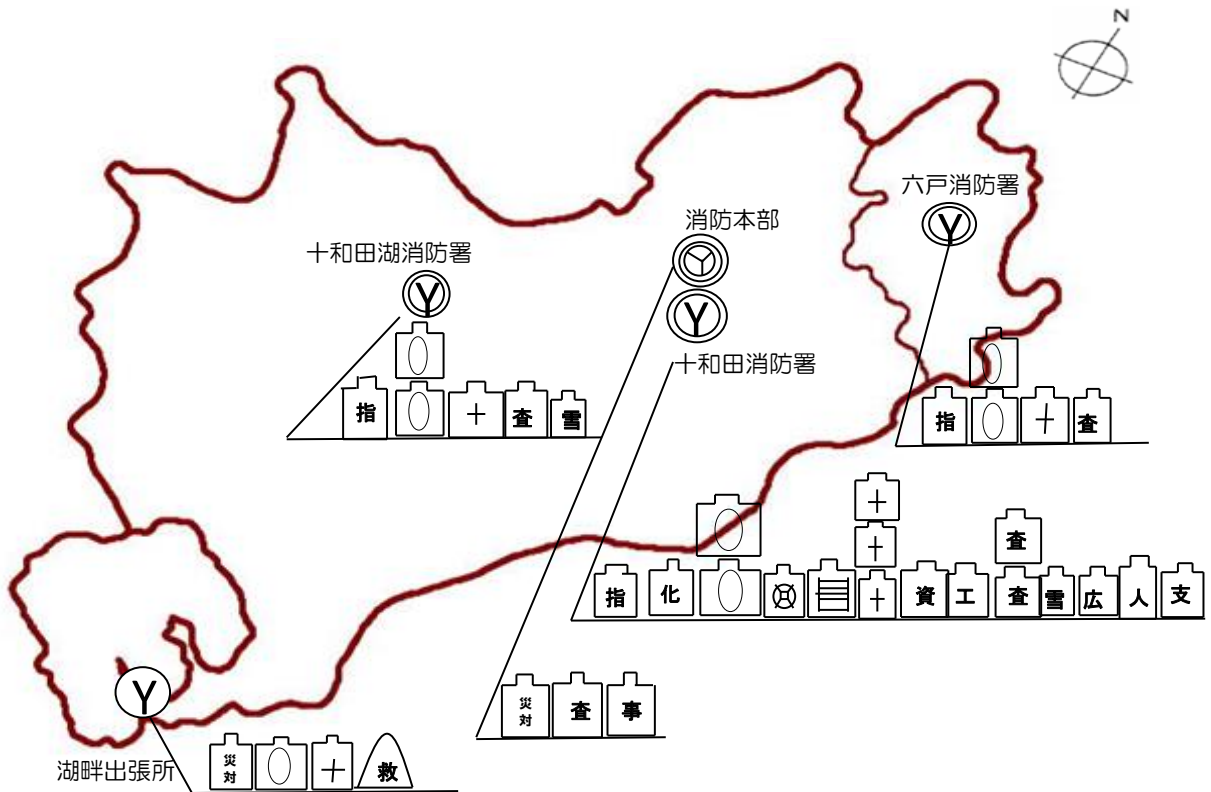
消防車両等の保有状況

令和4年4月1日現在

所 属	車 両 名 称	車 両 種 別	製造社名	購入年月
消本 防部 (3台)	災 害 対 応 車	消防自動車 (SUV)	日 産	H 28.8
	査 察 指 導 車	消防自動車 (ワゴン)	日 産	H 24.3
	事 務 連 絡 車	普通自動車 (ワゴン)	ホンダ	H 29.8
十 和 田 消 防 署 (16台)	指 揮 車	消防自動車 (ワゴン)	トヨタ	H 26.2
	1 号 車	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	R 2.2
	2 号 車	化学消防ポンプ自動車	日 野	H 23.3
	3 号 車	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	H 13.11
	4 号 車	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	H 7.3
	は し ご 車	はしご付消防ポンプ自動車	日 野	R 3.2
	救 助 工 作 車	救助工作車	日 野	H 19.3
	救 急 自 動 車	高規格救急自動車	トヨタ	R 2.2
	救 急 自 動 車	高規格救急自動車	トヨタ	R 4.3
	非 常 用 救 急 自 動 車	高規格救急自動車	トヨタ	H 24.2
	資 材 搬 送 車	消防自動車 (トラック)	三 菱	R 4.3
	支 援 車	消防自動車 (トラック)	いすゞ	H 25.3
	人 員 搬 送 車	大型自動車 (マイクロバス)	三 菱	H 11.8
	査 察 広 報 車	消防自動車 (軽ワゴン)	ホンダ	H 13.7
	査 察 広 報 車	普通自動車	ホンダ	H 14.3
	広 報 車	ミニ消防自動車 (軽トラック)	ホンダ	H 9.1
除 雪 車	小型特殊自動車 (ハイローダー)	日 立	H 4.2	
十消 和防 田署 湖 (6台)	指 揮 車	消防自動車 (ワゴン)	日 産	H 25.2
	1 号 車	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	H 29.2
	予 備 車	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H 4.12
	救 急 自 動 車	高規格救急自動車	トヨタ	H 25.3
	査 察 広 報 車	消防自動車 (軽ワゴン)	ダイハツ	H 26.8
	除 雪 車	小型特殊自動車 (ハイローダー)	日 立	R 3.3
湖出 張 畔所 (4台)	災 害 対 応 車	消防自動車 (トラック)	トヨタ	H 9.3
	1 号 車	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	H 26.2
	救 助 艇	小型消防救助艇	モリタ	H 6.8
	救 急 自 動 車	高規格救急自動車	トヨタ	H 27.11
六消 防 戸署 (5台)	指 揮 車	消防自動車 (ワゴン)	トヨタ	H 28.1
	1 号 車	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H 31.3
	予 備 車	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H 8.2
	救 急 自 動 車	高規格救急自動車	トヨタ	H 25.12
	査 察 広 報 車	消防自動車 (軽ワゴン)	ダイハツ	H 26.8

消防車両等配置状況図

令和4年4月1日現在



凡 例

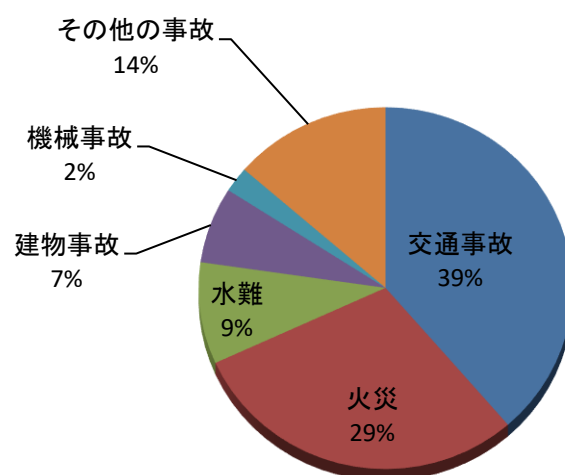
	指 揮 車		はしご付消防ポンプ自動車
	査 察 広 報 車 査 察 指 導 車		救 急 自 動 車
	広 報 車		救 助 工 作 車
	事 務 連 絡 車		人 員 搬 送 車
	小 型 動 力 ポンプ 付 水 槽 車		資 材 搬 送 車
	水 槽 付 消 防 ポンプ 自 動 車		化 学 消 防 ポンプ 自 動 車
	小 型 消 防 救 助 艇		災 害 対 応 車
	除 雪 車		支 援 車

救助業務状況

区分 事故種別	令和元年			令和2年			令和3年		
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員
火災	6	6		10	10	1	13	13	2
交通	39	25	32	25	24	22	17	17	20
水難	4	2	2	2	2	1	4	4	4
自然災害									
機械による事故	1			1	1	1	1	1	1
建物による事故	10	8	8	10	10	5	3	3	2
ガス及び酸欠事故									
その他の事故	4	3	2	3	3	2	6	6	5
合計	64	44	44	51	50	32	44	44	34

事故種別出動割合

令和3年



管内別救助出動状況

令和3年

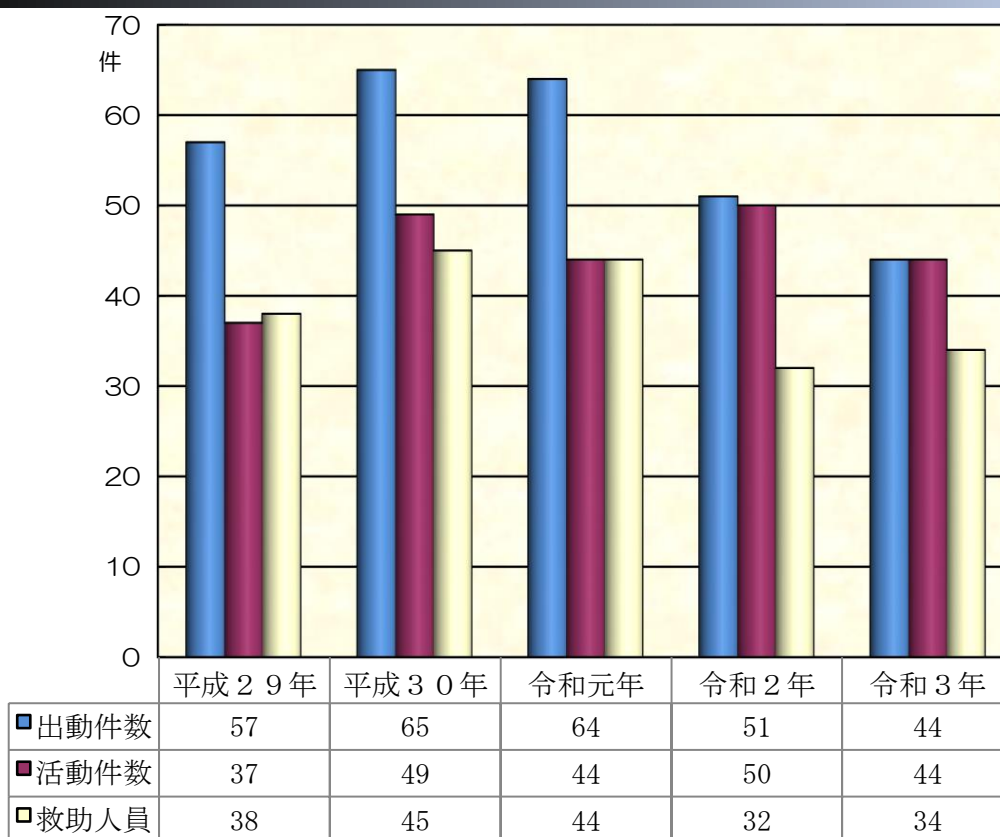
区分		火 災	交 通 事 故	水 難	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠	そ の 他 事 故	合 計
事 務 組 合	出 動 件 数	13	17	4		1	3		6	44
	活 動 件 数	13	17	4		1	3		6	44
	救 助 人 員	2	20	4		1	2		5	34
十 和 田 署 管 内	出 動 件 数	12	10	4			3		3	32
	活 動 件 数	12	10	4			3		3	32
	救 助 人 員	1	11	4			2		3	21
十 和 田 湖 署 管 内	出 動 件 数	1	2						2	5
	活 動 件 数	1	2						2	5
	救 助 人 員	1	3						1	5
湖 畔 出 張 所 管 内	出 動 件 数								1	1
	活 動 件 数								1	1
	救 助 人 員								1	1
六 戸 署 管 内	出 動 件 数		5			1				6
	活 動 件 数		5			1				6
	救 助 人 員		6			1				7

月別救助出動状況

令和3年

区分	月													合 計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
出 動 件 数	3	4	3	2	1	6	8	4	3	3	4	3	44	
活 動 件 数	3	4	3	2	1	6	8	4	3	3	4	3	44	
救 助 人 員	2	4	2	2	0	6	6	4	1	2	3	2	34	

過去5年間における救助業務状況



火災・救急・救助以外の出動状況（署所別）

令和3年

		十和田 消防署	十和田湖 消防署	湖畔 出張所	六戸 消防署	合計
救急支援 (PA連携)	令和3年	504	44	6	109	663
	令和2年	541	54	5	114	714
	増 減	△ 37	△ 10	1	△ 5	△ 51
ヘリコプター 警 備	令和3年	50	6	1	12	69
	令和2年	71	5	0	17	93
	増 減	△ 21	1	1	△ 5	△ 24
危険排除	令和3年	7	3	1	0	11
	令和2年	9	1	0	2	12
	増 減	△ 2	2	1	△ 2	△ 1
風 害	令和3年	5	3	0	0	8
	令和2年	21	9	0	2	32
	増 減	△ 16	△ 6	0	△ 2	△ 24
水 害	令和3年	0	1	0	0	1
	令和2年	8	0	0	0	8
	増 減	△ 8	1	0	0	△ 7
土砂災害	令和3年	0	0	0	0	0
	令和2年	0	0	0	0	0
	増 減	0	0	0	0	0
怪煙・怪火	令和3年	4	2	0	2	8
	令和2年	5	1	0	2	8
	増 減	△ 1	1	0	0	0
火災報知器 鳴動	令和3年	9	0	1	1	11
	令和2年	12	1	2	1	16
	増 減	△ 3	△ 1	△ 1	0	△ 5
遭 難	令和3年	5				5
	令和2年	4				4
	増 減	1				1
その他	令和3年	49	12	1	9	71
	令和2年	13	9	1	7	30
	増 減	36	3	0	2	41
合 計 (「遭難」を除く)	令和3年	628	71	10	133	842
	令和2年	680	80	8	145	913
	増 減	△ 52	△ 9	2	△ 12	△ 71

消防水利施設状況

令和4年4月1日現在

		十和田市			六戸町	計	
		十和田消防署管内	十和田湖消防署管内	湖畔出張所管内	六戸消防署管内		
消火栓	公設	1,064	78	11	291	1,444	
	私設	26	0	1	3	30	
	計	1,090	78	12	294	1,474	
防火水槽	公設	20㎡未満	0	1	0	3	4
		20㎡以上 40㎡未満	8	0	0	27	35
		40㎡以上 100㎡未満	164	62	10	73	309
		100㎡以上	3	0	0	0	3
	計		175	63	10	103	351
	私設	20㎡未満	0	0	0	0	0
		20㎡以上 40㎡未満	0	0	0	0	0
		40㎡以上 100㎡未満	16	2	0	2	20
		100㎡以上	0	0	0	0	0
	計		16	2	0	2	20
合 計		1,281	143	22	399	1,845	

消防相互応援協定等の状況

令和4年4月1日現在

協定施行年月日	相手の団体名	協定の種類
昭和60年4月1日	中部上北広域事業組合	大規模災害及び特殊災害 並びに隣接区域の災害
平成2年7月1日	三 沢 市	大規模災害及び特殊災害 並びに隣接区域の災害
平成5年1月1日	平賀・尾上地区消防 事務組合	大規模災害及び特殊災害 並びに隣接区域の災害
平成5年3月1日	八戸地域広域市町村圏 事務組合	大規模災害及び特殊災害 並びに隣接区域の災害
平成5年4月1日	青森地域広域消防 事務組合	大規模災害及び特殊災害 並びに隣接区域の災害
平成18年9月1日	青森県内13市町村 (7消防本部)	応援活動を必要とする火災 その他災害等
平成28年3月1日	青森県内全市町村 (全消防本部)	大規模災害及び特殊災害等
令和2年4月1日	鹿角広域行政組合	大規模災害及び特殊災害 並びに隣接区域の災害

救 急 編



令和3年は、全署所に計5台の高規格救急自動車を配備し、33名の救急救命士が救急業務に従事している。

令和3年中の救急出動件数は2,628件、搬送人員は2,308人で、前年と比較し出動件数で164件、搬送人員で150人の増加となった。

救急出動件数の1ヶ月平均は約219件であり、1年間で管内人口（令和3年4月1日現在）の約31人に1人が搬送されたことになる。

搬送人員を事故種別ごとに見ると、急病が1,471人で全体の63.7%を占め、次いで一般負傷が301人（同13%）、転院搬送291人（同12.6%）の順となっている。

また、搬送人員を年齢別で見ると、65歳以上の方が67%を占めている。

119番入電から現場到着までの平均時間は8.6分で、医療機関収容までの平均時間は36.5分であった。



写真：警防技術研修会（多数傷病者対応訓練）

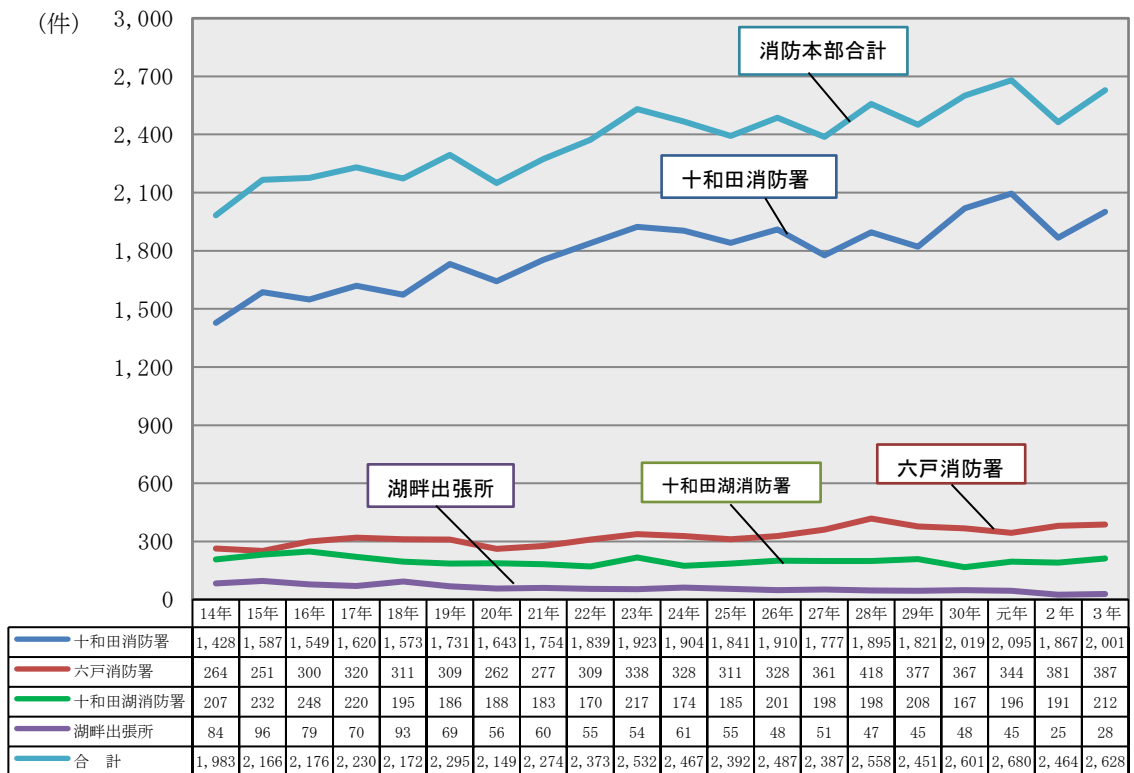
救急出動件数（内訳）

令和3年

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		合計
												転院	その他	
十和田消防署	出動件数	8		4	149	26	11	243	8	30	1,227	273	22	2,001
	搬送人員	9		4	115	24	11	220	7	18	1,096	272		1,776
十和田湖消防署	出動件数	1			13	3	4	41	1	2	140	4	3	212
	搬送人員				9	3	3	34		1	114	4		168
湖畔出張所	出動件数				2	1		5		1	17		2	28
	搬送人員				1	1		5			16			23
六戸消防署	出動件数	3			27	8	1	49		6	276	15	2	387
	搬送人員	2			26	8	1	42		2	245	15		341
管内合計	出動件数	12	0	4	191	38	16	338	9	39	1,660	292	29	2,628
	搬送人員	11	0	4	151	36	15	301	7	21	1,471	291	0	2,308
月平均	出動件数	1.00	0.00	0.33	15.92	3.17	1.33	28.17	0.75	3.25	138.3	24.33	2.42	219.0
	搬送人員	0.92	0.00	0.33	12.58	3.00	1.25	25.08	0.58	1.75	122.58	24.25	0.00	192.3

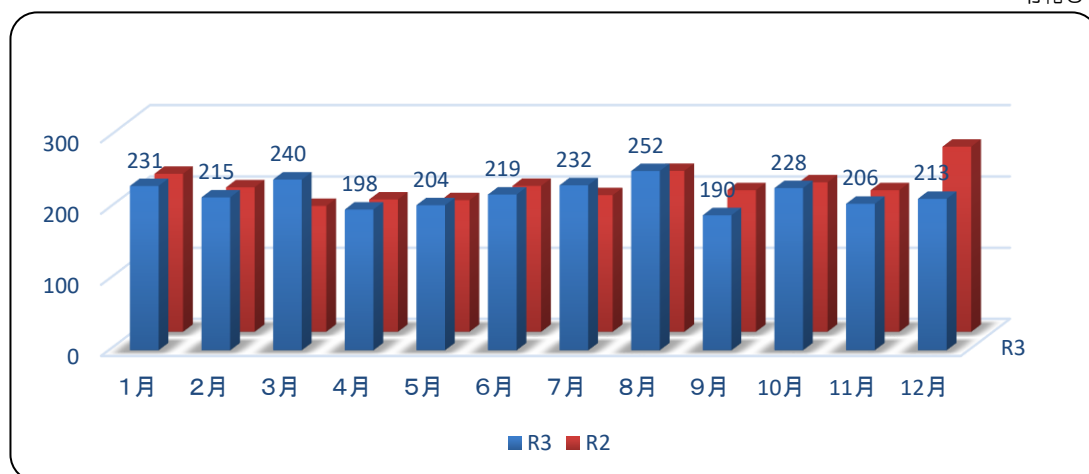
救急出動件数の推移

過去20年間の救急出動件数



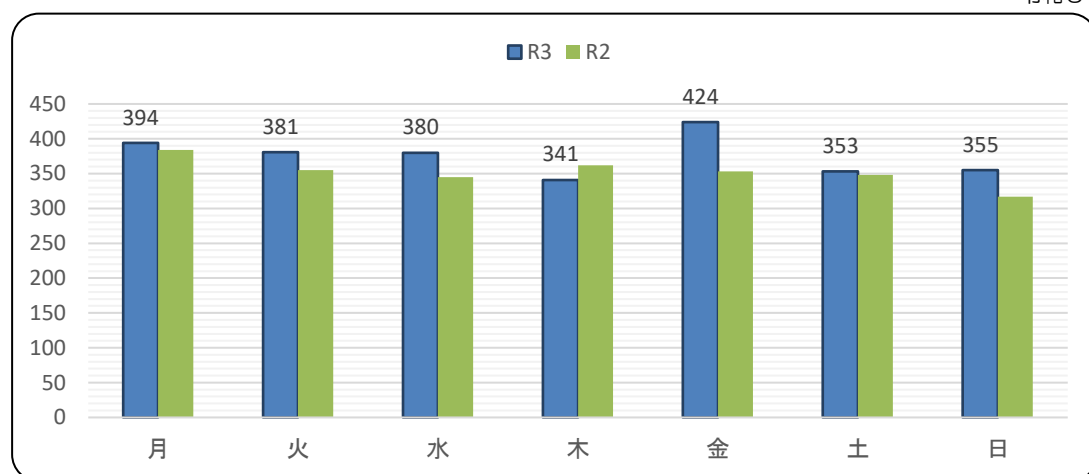
月別救急出動件数（前年との比較）

令和3年



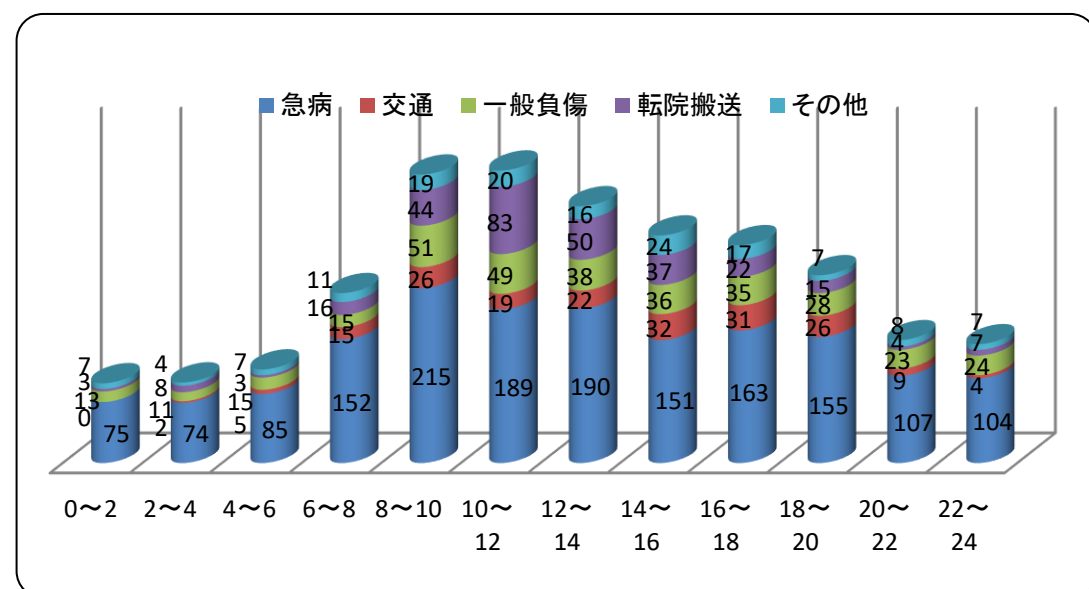
曜日別救急出動件数（前年との比較）

令和3年



時間帯別救急出動件数

令和3年



救急搬送人員（内訳）

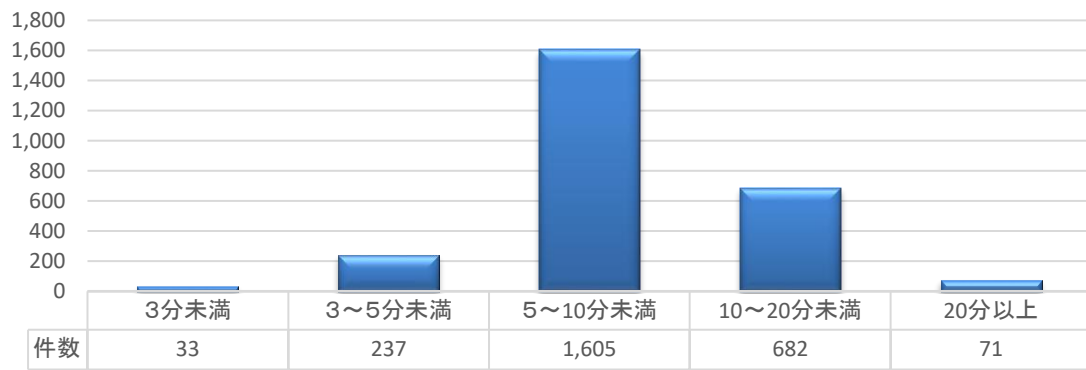
令和3年

事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	小計	合計
年齢区分														
10歳未満 (0～9)	男				4		1	8			19	7	39	72
	女				4			3			21	5	33	
10歳代 (10～19)	男			1	8	2	11	4			11	1	38	66
	女				4		1			1	20	2	28	
20歳代 (20～29)	男				10	4		3	1	1	33	5	57	113
	女				7			1		3	37	8	56	
30歳代 (30～39)	男	1			7	3	1	4	2	1	12	3	34	72
	女				6	1		1		3	19	8	38	
40歳代 (40～49)	男				5	7		13		1	37	8	71	118
	女				5	1		5	1	1	30	4	47	
50歳代 (50～59)	男				9	6	1	8	1	4	66	12	107	179
	女	1			9	1		7	1		43	10	72	
60歳代 (60～69)	男				11	7		20		2	104	21	165	288
	女	2			7			21		1	76	16	123	
70歳代 (70～79)	男	3			9	3		35			196	51	297	549
	女	1		1	19			41			161	29	252	
80歳代 (80～89)	男	2			14	1		37		3	224	35	316	652
	女	1		2	12			59	1		218	43	336	
90歳代 (90～99)	男							9			50	4	63	196
	女				1			22			92	18	133	
100歳以上 (100～)	男										1		1	3
	女										1	1	2	
年齢不明	男													
	女													
合計	男	6	0	1	77	33	14	141	4	12	753	147	1,188	2,308
	女	5	0	3	74	3	1	160	3	9	718	144	1,120	
	計	11	0	4	151	36	15	301	7	21	1,471	291		

現場到着所要時間状況

令和3年

現場到着平均所要時間 8.6分



医療機関収容所要時間状況

令和3年

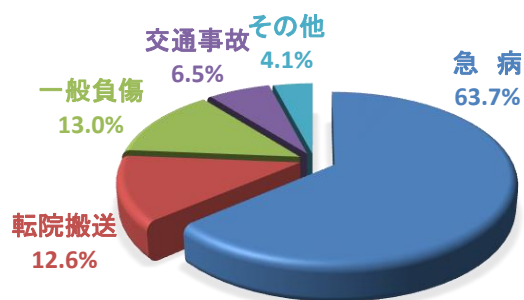
医療機関収容平均所要時間 36.5分



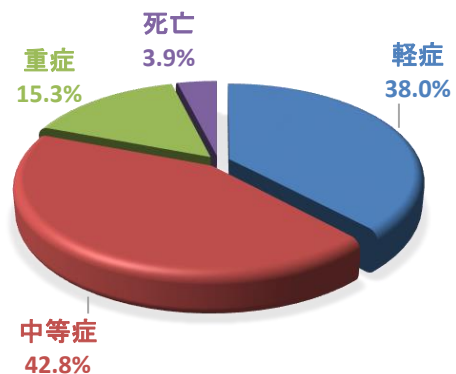
事故種別・程度別搬送人員状況

令和3年

事故種別割合



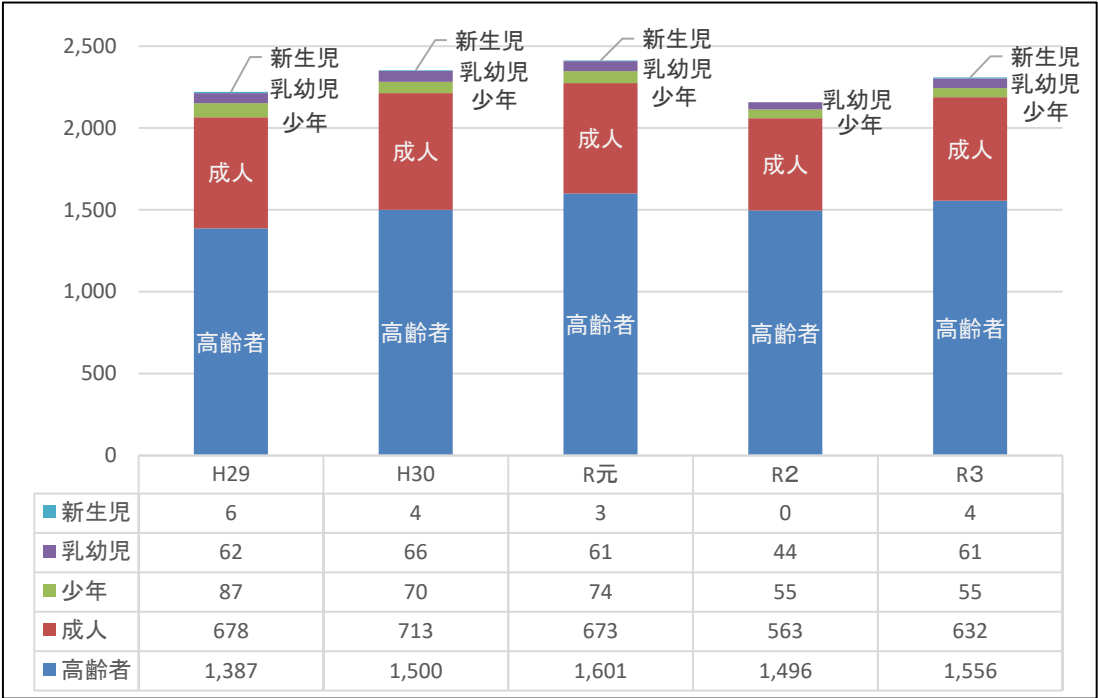
傷病程度割合



※ 傷病程度

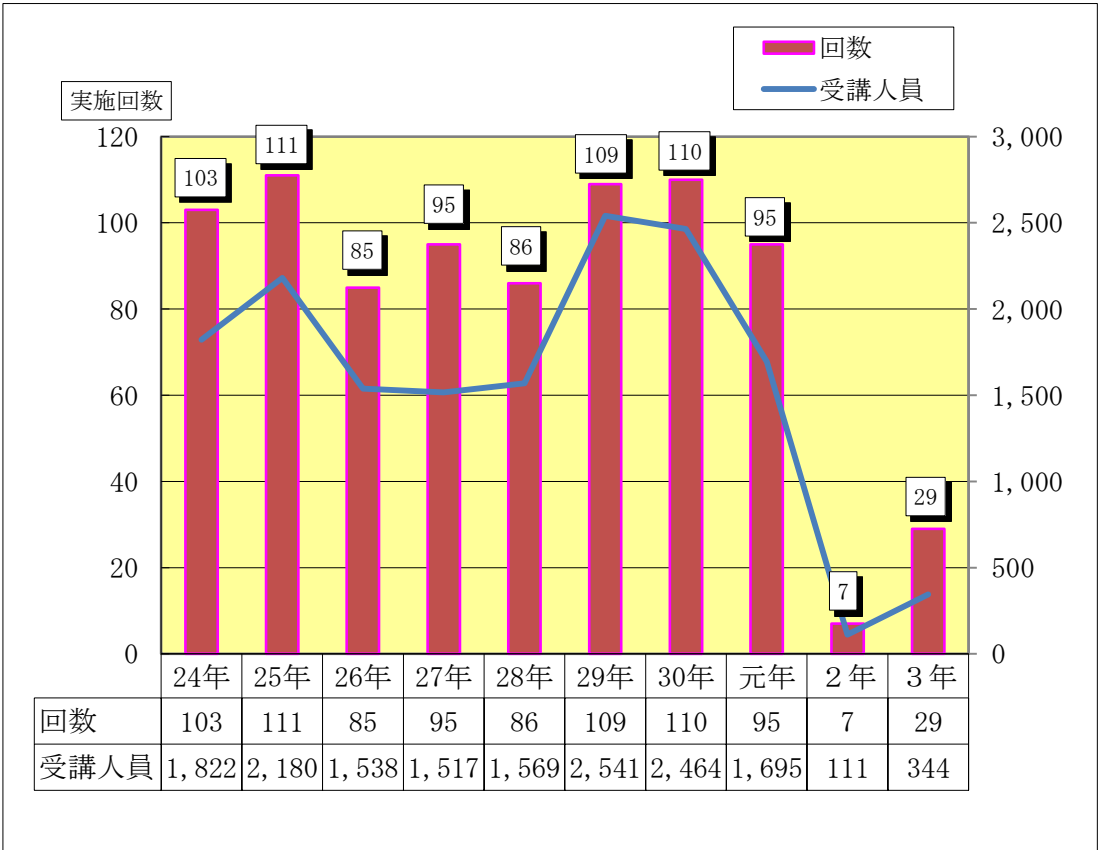
死 亡…初診時において死亡が確認されたもの
重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症…入院を要するもので重症にいたらないもの
軽 症…入院加療を必要としないもの

年代別救急搬送人員状況（過去5年間の比較）



※新生児（生後28日未満）、乳幼児（生後28日以上～7歳未満）、少年（7歳以上～18歳未満）、成人（18歳以上～65歳未満）、高齢者（65歳以上）

応急手当講習会実施状況（過去10年間の比較）



救急隊員の行った応急処置状況

令和3年

事故種別 応急処置	急病	交通	一般負傷	その他	計	
応急処置対象人員	1,471	151	301	383	2,306	
止血	10	11	35	15	71	
固定	11	106	62	30	209	
人工呼吸	3		1		4	
胸骨圧迫					0	
うち自動					0	
心肺蘇生	72	2	7	5	86	
うち自動	51	1	6	4	62	
酸素吸入	334	22	28	120	504	
気道確保		87	2	11	7	107
	※1	8				8
	※2					0
	※3	45		2	3	50
	※4	6		4	2	12
保温	8	1		5	14	
被覆	3	11	27	13	54	
その他の応急処置	1,409	148	291	378	2,226	

(気道確保)

- ※1. 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
- ※2. 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
- ※3. ラリゲルマスク等を使用しての気道確保
- ※4. 気管挿管を実施し気道確保

事故種別 応急処置	急病	交通	一般負傷	その他	計	
除細動	7				7	
静脈路確保 (輸液)	CPA前	20	3	5	7	35
	CPA後	41	1	5	3	50
薬剤投与	29		4	3	36	
エピベン投与					0	
血糖測定	85		4	3	92	
ブドウ糖投与	3				3	
ショックパンツ 血圧保持					0	
血圧測定	1,374	148	286	372	2,180	
聴診器による聴取	290	53	34	27	404	
血中酸素飽和度	1,403	149	294	377	2,223	
心電図		1,340	109	207	292	1,948
	うち伝送					0
在宅療法継続		6				6
	※A	1				1
	※B					0
	※C	5				5

(在宅療法継続)

- ※A. 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対するの応急処置等
- ※B. 気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対するの応急処置等
- ※C. ※A・※B以外の傷病者に対するの応急処置等

救急救命士資格状況

令和3年4月1日現在

救急隊配置 救急救命士数	気管挿管	薬剤投与 (アドレナリン)	※(挿管・ 薬剤両認定)	血糖測定 ブドウ糖投与	CPA前静 脈路確保
33名	30名	31名	29名	31名	31名

1. 気管挿管は平成16年から運用開始
2. 薬剤投与(アドレナリン)は平成18年から運用開始
3. 血糖測定・ブドウ糖投与、心肺機能停止前の静脈路確保は平成27年から運用開始

青森県ドクターヘリ出動状況（前年との比較）

署所別	年 別	ドクターヘリ 出動件数	ドクターヘリ 搬送人員
十和田消防署	令和2年	56	46
	令和3年	53	39
十和田湖消防署	令和2年	10	8
	令和3年	6	3
湖畔出張所	令和2年	0	0
	令和3年	1	1
六戸消防署	令和2年	18	17
	令和3年	9	4
合 計	令和2年	84	71
	令和3年	69	47

- ・青森県ドクターヘリは平成21年運行開始
- ・平成24年から2機体制での運行開始



令和3年中における全国の住宅火災による死者(放火自殺者を除く)数は913人となっており、このうち65歳以上の高齢者は682人で、全体の7割を超えている。死に至った経緯の発生状況別にみると、「逃げ遅れ」が最も多くなっている。

当消防本部は、「逃げ遅れ」対策として住宅用火災警報器の全戸設置を目指し、春・秋の火災予防運動で、幼年・少年消防クラブ、婦人防火クラブの自主防災組織及び消防協力団体と連携し、市民に住宅用火災警報器の必要性、維持管理方法を周知することで、住宅防火に対する意識の高揚を図っている。



写真：火災予防運動（大手家電流通協会との協力事業）

左：テックランド 十和田店（ヤマダ 電機） 右：ケースデンキ十和田店

防火対象物一覧表

令和4年3月31日現在

		区 分	十和田市	六戸町	合 計
防火対象物の用途別（令別表第1）					
(一)	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	8	4	12
	ロ	公会堂、集会所	66	22	88
(二)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類			
	ロ	遊技場、ダンスホール	12		12
	ハ	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第5項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗			
(三)	イ	待合、料理店の類			
	ロ	飲食店	89	3	92
(四)		百貨店、マーケットの類	190	19	209
(五)	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	50	4	54
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	822	15	837
(六)	イ(1)	避難のために患者の介助が必要な病院	1		1
	イ(2)	避難のために患者の介助が必要な有床診療所	2		2
	イ(3)	(1)を除く病院、(2)を除く有床診療所、有床助産所	14	1	15
	イ(4)	無床診療所、無床助産所	32	3	35
	ロ(1)	老人福祉施設等	43	6	49
	ロ(2)	救護施設	2		2
	ロ(3)	乳児院			
	ロ(4)	障害児入所施設			
	ロ(5)	障害者支援施設等	5	1	6
	ハ(1)	老人デイサービスセンター等	11	6	17
	ハ(2)	更生施設			
	ハ(3)	助産施設、保育所等	33	4	37
	ハ(4)	児童発達支援センター等	3	1	4
	ハ(5)	身体障害者福祉センター等	33	1	34
	ニ	幼稚園、特別支援学校	5	1	6
(七)		小学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	108	13	121
(八)		図書館、博物館、美術館の類	8	2	10
(九)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類			
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	9	3	12
(十)		車両の停車場、船舶又は航空機の発着所	1		1
(十一)		神社、寺院、教会の類	35	7	42
(十二)	イ	工場、作業所	412	112	524
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			
(十三)	イ	自動車車庫、駐車場	50	15	65
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫			
(十四)		倉庫	453	119	572
(十五)		前各項に該当しない事業所	742	142	884
(十六)	イ	(一)～(四)、(五)イ、(六)、(九)イが存する複合用途防火対象物	231	20	251
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	179	26	205
(十六の二)		地下街			
(十七)		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	1	1	2
(十八)		延長50メートル以上のアーケード	5		5
合 計			3,657	551	4,208

※150㎡以上（(十七)項及び(十八)項を除く）の件数

防火対象物立入検査実施状況

令和3年度

防火対象物の別（令別表第一）		項目別	防火対象物数	査察実施件数	通告件数	警告件数	命令件数
(一)	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	12	11	3		
	ロ	公会堂、集会所	88	69	53		
(二)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類		1	1		
	ロ	遊技場、ダンスホール	12	8	3		
	ハ	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第5項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗	0	0	0		
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室（これに類する施設を含む）において客に利用させる店舗	2	2	2		
(三)	イ	待合、料理店の類	0	0	0		
	ロ	飲食店	92	59	42		
(四)		百貨店、マーケットの類	209	147	64	1	
(五)	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	54	61	39		
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	837	27	6		
(六)	イ(1)	避難のために患者の介助が必要な病院	1	0	0		
	イ(2)	避難のために患者の介助が必要な有床診療所	2	0	0		
	イ(3)	(1)を除く病院、(2)を除く有床診療所、有床助産所	15	6	1		
	イ(4)	無床診療所、無床助産所	35	16	7		
	ロ(1)	老人福祉施設等	49	0	0		
	ロ(2)	救護施設	2	0	0		
	ロ(3)	乳児院	0	0	0		
	ロ(4)	障害児入所施設	0	0	0		
	ロ(5)	障害者支援施設等	6	4	1		
	ハ(1)	老人デイサービスセンター等	17	4	0		
	ハ(2)	更生施設	0	1	0		
	ハ(3)	助産施設、保育所等	37	37	9		
	ハ(4)	児童発達支援センター等	4	4	0		
	ハ(5)	身体障害者福祉センター等	34	19	4		
	ニ	幼稚園、特別支援学校	6	7	1		
(七)		小学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	121	89	8		
(八)		図書館、博物館、美術館の類	10	5	1		
(九)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類	0	2	2		
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	12	9	0		
(十)		車両の停車場、船舶又は航空機の発着所	1	3	0		
(十一)		神社、寺院、教会の類	42	15	5		
(十二)	イ	工場、作業所	524	96	28		
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0	0	0		
(十三)	イ	自動車車庫、駐車場	65	48	4		
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	0	0	0		
(十四)		倉庫	572	447	30		
(十五)		前各項に該当しない事業所	884	364	24		
(十六)	イ	(一)～(四)、(五)イ、(六)、(九)イが存する複合用途防火対象物	251	46	28		
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	205	17	5		
(十六の二)		地下街	0	0	0		
(十七)		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	2	2	0		
(十八)		延長50メートル以上のアーケード	5	0	0		
合 計			4,208	1,626	371	1	

※防火対象物数は150㎡以上（（十七）項及び（十八）項を除く）、その他は150㎡未満を含む件数

防火対象物各種届出状況

令和3年度

項目別		消防用設備着工届	消防用設備設置届	検査済証交付件数	防火対象物使用開始届	防火管理者選任届	消防計画届	自衛消防訓練届	設備点検報告書	
防火対象物の別（令別表第一）										
(一)	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場				1	1	7	7	
	ロ	公会堂、集会所		3	1	47	49	95	78	
(二)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類				1	1		1	
	ロ	遊技場、ダンスホール				1	1	23	7	
	ハ	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第5項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗								
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室（これに類する施設を含む）において客に利用させる店舗		1	1		1	1	3	2
(三)	イ	待合、料理店の類								
	ロ	飲食店	1	1	1	8	8	12	57	56
(四)		百貨店、マーケットの類	7	20	8	10	38	38	163	138
(五)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	8	12	4		3	3	26	63
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅		1	1	1	6	6	5	37
(六)	イ(1)	避難のために患者の介助が必要な病院							2	1
	イ(2)	避難のために患者の介助が必要な有床診療所							2	1
	イ(3)	(1)を除く病院、(2)を除く有床診療所、有床助産所	2	4	4			1	11	11
	イ(4)	無床診療所、無床助産所		1	1	1		3	32	26
	ロ(1)	老人福祉施設等	4	10	1	1	3	4	53	38
	ロ(2)	救護施設						2	24	1
	ロ(3)	乳児院								
	ロ(4)	障害児入所施設								
	ロ(5)	障害者支援施設等						1	6	4
	ハ(1)	老人デイサービスセンター等					6	7	30	16
	ハ(2)	更生施設								
	ハ(3)	助産施設、保育所等	4	12	4	2	7	14	89	33
	ハ(4)	児童発達支援センター等							4	4
	ハ(5)	身体障害者福祉センター等		2		1	1	3	30	34
	ニ	幼稚園、特別支援学校						1	9	5
(七)		小学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	2	9	1	2	22	27	49	8
(八)		図書館、博物館、美術館の類	1	2				1	7	6
(九)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類								1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場							7	6
(十)		車両の停車場、船舶又は航空機の発着所								
(十一)		神社、寺院、教会の類					1	2	5	14
(十二)	イ	工場、作業所	7	23	7	8	6	6	16	144
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ								
(十三)	イ	自動車車庫、駐車場	1	3	1	2				24
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫								
(十四)		倉庫	2	13	8	7	3		7	129
(十五)		前各項に該当しない事業所	6	25	14	8	27	27	47	224
(十六)	イ	(一)～(四)、(五)イ、(六)、(九)が存する複合用途防火対象物		3	3	8	9	20	53	84
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物				1	1	4	5	21
(十六の二)		地下街								
(十七)		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物							1	
(十八)		延長50メートル以上のアーケード								
合計			45	145	60	60	192	235	868	1,224

火災予防条例等に基づく各種届出状況

令和3年度

種 別	十和田市	六戸町	合 計
炉			
かまど			
ボイラー	4	1	5
給湯湯沸設備	8		8
乾燥設備	1	3	4
サウナ設備	1		1
火花を発生する設備			
発電設備			
変電設備	23	3	26
蓄電池設備	5	3	8
ネオン管灯設備			
水素ガスを充てんする気球			
催物開催	1		1
禁止行為解除	1	1	2
少量危険物届出	9		9
少量危険物廃止	13	2	15
少量タンク検査			
指定可燃物	6		6
指定洞道			
圧縮アセチレンガス貯蔵開始	4		4
液化石油ガス貯蔵取扱開始	4		4
毒劇物貯蔵取扱開始			
灯油販売業			
煙火打ち上げ	35	2	37
火災とまぎらわしい行為	12	13	25
露店の開設届	28	12	40
合 計	155	40	195

予防広報活動状況

令和3年度

項 目	区 分	防火 クラブ	事業所	学校等	一 般	合計
防 火 座 談 会	回 数					0
	人 員					0
消 火 器 消 火 訓 練	回 数	8	4	8	1	21
	人 員	55	29	39	30	153
防 火 映 画 上 映 会	回 数					0
	人 員					0
防 火 研 修 ・ 講 習 会	回 数	1				1
	人 員	18				18
避 難 訓 練	回 数	15	20	14	2	51
	人 員	1,137	1,098	1,407	50	3,692
防 火 図 画 ・ 作 文 等 募 集	回 数	1		1		2
	人 員	436		501		937
危 険 物 研 修 ・ 講 習 会	回 数					0
	人 員					0
消 防 設 備 研 修 ・ 講 習 会	回 数					0
	人 員					0
防 火 管 理 者 講 習 会	回 数				3	3
	人 員				93	93
消 防 展	回 数					0
	人 員					0
新 聞 ・ 広 報 誌 等 掲 載 啓 蒙	回 数				24	24
消 防 車 輛 に よ る 巡 回 広 報 宣 伝	回 数	1			188	189
防 災 無 線 に よ る 広 報 宣 伝	回 数				38	38
合 計	回 数	26	24	23	256	329
	人 員	1,646	1,127	1,947	173	4,893

危険物施設市町別設置状況

令和4年3月31日現在

製造所等の別 区分	製造所	貯蔵所							取扱所				合計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	移送	一般	
十和田市		17	19	2	81	2	68	1	49			40	279
六戸町		3	3		15		8		13			5	47
合計		20	22	2	96	2	76	1	62			45	326

危険物施設倍数別設置状況

令和4年3月31日現在

製造所等の別 区分	製造所	貯蔵所							取扱所				合計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	移送	一般	
指定数量の5倍以下		12	4	1	54	2	76	1	5			20	175
5倍を超え10倍以下		6	5	1	27				5			10	54
10// 50//		2	8		11				19			15	55
50// 100//			2		3				9				14
100// 150//									7				7
150// 200//			3		1				6				10
200倍を超えるもの									11				11
合計		20	22	2	96	2	76	1	62			45	326

危険物施設立入検査実施状況

令和3年度

製造所等の別 区分	製造所	貯蔵所							取扱所				合計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	移送	一般	
危険物施設数		20	22	2	96	2	76	1	62			45	326
立入検査施設数		1	7		27		72		36			20	163
指導件数			4		12		5		16			10	47
警告件数													
命令件数													
告発件数													

危険物施設事務処理状況

令和3年度

製造所等の別 届出区分		製 造 所	貯 蔵 所					取 扱 所				合 計			
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売		移 送	一 般	
許 可	設 置			1				2					1	4	
	変 更					2		9		20			2	33	
	常 場 の 変 更	他許可行政 庁に転出							1						1
		他許可行政 庁から転入													
完 成 検 査	設 置							2						2	
	変 更					2		9		20			2	33	
	他許可行政 庁から転入														
廃 止 届						3		2		2			1	8	
	完成検査前 に設置許可の 取消・取下														
完 成 検 査 前 検 査										1				1	
承 認	仮 使 用					1				17				18	
	仮貯蔵（仮取扱）														
予 防 規 程 認 可				2						12			4	18	
保 安 監 督 者	選 任 届		3	5		1				3			3	15	
	解 任 届		3	5						2			3	13	
品 名、数 量 又 は 指 定 数 量 の 倍 数 変 更 届			2					1						3	
住 所、氏 名、名 称 変 更 届				1	1	4		4		6			8	24	
譲 渡 引 渡 届				1						1				2	
休 止 ・ 再 開 届						1								1	

火災予防運動実施状況

令和3年度

区 分	期 間	行事の概要
春の火災予防運動	4月12日 ～ 4月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防火パレード ・ 広報紙・ホームページに掲載 ・ 消防庁舎周辺にのぼり旗及び看板を掲出し、住宅用火災警報器の設置促進と防火意識の高揚を図る ・ 消防車両に貼付したマグネットシートによる防火広報 ・ 防火ポスター、チラシを事業所に配布 ・ 防火対象物へ火災予防の館内放送依頼 ・ 消防テレホンガイド及び防災無線による防火広報 ・ 巡回広報（昼）及び夜間防火パトロール ・ 火災予防運動実施中の腕章着用 ・ 幼年消防クラブ員が防火半てんを着用し通園 ・ 大手家電量販店にのポスター、のぼり旗及び住宅用火災警報器に関するのチラシを設置し、来客者にPRし防火意識の高揚を図る。
十和田湖畔地区 春の火災予防運動	4月19日 ～ 4月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湖畔地区防火パレード ・ ホームページに掲載 ・ 消防テレホンガイドによる防火広報 ・ 出張所周辺にのぼり旗を掲揚した防火広報 ・ 防火ポスター、チラシを事業所に配布 ・ 防火対象物へ火災予防の館内放送依頼 ・ 巡回広報（昼）及び夜間防火パトロール ・ 火災予防運動実施中の腕章着用
山火事防止呼びかけ	4月上旬 ～ 6月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入山者への林野火災防止呼びかけ ・ 広報車による巡回広報 ・ 山火事防止のマグネットシート掲出

区 分	期 間	行事の概要
十和田湖畔地区 秋の火災予防運動	9月27日 ～ 10月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・湖畔地区防火パレード ・ホームページに掲載 ・消防テレホンガイドによる防火広報 ・出張所周辺にのぼり旗を掲揚した防火広報 ・防火ポスター、チラシを事業所に配布 ・防火対象物へ火災予防の館内放送依頼 ・巡回広報(夜間防火パトロール) ・火災予防運動実施中の腕章着用 ・消防水利、機械器具の点検整備
秋の火災予防運動	10月18日 ～ 10月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・防火パレード ・広報紙・ホームページに掲載 ・消防庁舎周辺にのぼり旗及び看板を掲出し、住宅用火災警報器の設置促進と防火意識の高揚を図る ・消防車両に貼付したマグネットシートによる防火広報 ・防火ポスター、チラシを事業所に配布 ・防火標語・図画展の開催 ・防火対象物へ火災予防の館内放送依頼 ・消防テレホンガイド及び防災無線による防火広報 ・巡回広報(昼)及び夜間防火パトロール ・火災予防運動実施中の腕章着用 ・幼年消防クラブ員が防火半てんを着用し通園 ・大手家電量販店にのぼり旗及び住宅用火災警報器に関するのチラシを設置し、来客者にPRし防火意識の高揚を図る。
年末年始特別 火災予防運動	12月27日 ～ 1月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙・ホームページに掲載 ・ホテル、飲食店、神社、仏閣等への防火チラシ配布 ・のぼり旗、看板掲出による広報 ・防火対象物等査察(飲食店・大規模店舗・危険物施設) ・巡回広報(昼)及び夜間防火パトロール ・消防テレホンガイド及び防災無線による防火広報 ・消防水利、機械器具の点検整備

消防協力団体活動状況

十和田地域消防安全管理協会 会員数255会員

令和3年度

年月日	活動概要
R3.4.15	令和2年度監査会開催
R3.5.14	令和3年度表彰審査会開催
//	令和3年度第1回役員会開催
R3.5.28	令和3年度定時総会（書面決議）の発送
R3.7.8~9 R3.12.2~3	甲種防火管理新規講習の共催
R4.2.3	甲種防火管理再講習の共催
R4.3.8	十和田市に防災用品寄贈（ポップアップテント64張り）
R4.3.31	会報「消防安全管理だより」発行
随 時	各事業所において消火訓練等の実施
そ の 他	防火ポスターの配布・掲示



防災用品寄贈のために十和田市役所に成田会長と佐々木副会長が訪問した様子

十和田地区幼年・少年消防クラブ、婦人防火クラブ

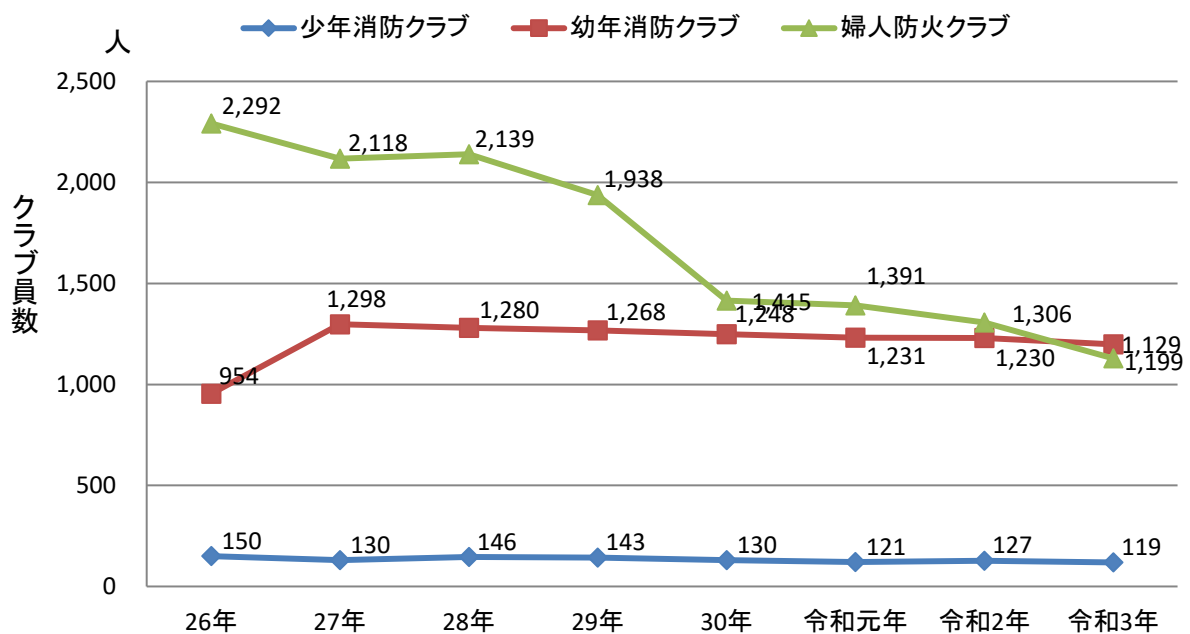
クラブの結成状況

令和3年4月1日現在

クラブ名		支部別	十和田支部	十和田湖支部	六戸支部	合計
幼年消防クラブ	クラブ数		23	2	4	29
	クラブ員		920	32	247	1,199
少年消防クラブ	クラブ数		1	1	1	3
	クラブ員		6	8	105	119
婦人防火クラブ	クラブ数		15	5	4	24
	クラブ員		608	312	209	1,129
合計	クラブ数		39	8	9	56
	クラブ員		1,534	352	561	2,447

各クラブ員数の推移

令和3年4月1日現在



消 防 団 編



当消防本部管内の消防団は、2消防団（十和田市、六戸町）、20分団（十和田市11分団、六戸町9分団）が設置され、消防団員総数は、882人（十和田市706人、六戸町176人）となっている。

消防団施設には、分団詰所兼車庫、ホース乾燥塔等があり、装備としてはポンプ自動車25台（十和田市23台、六戸町2台）、水槽付ポンプ自動車は3台（十和田市1台、六戸町2台）である。このほか、小型動力ポンプ積載車29台（十和田市23台、六戸町6台）、小型動力ポンプ1台（六戸町）、指令広報車1台（十和田市）、指揮車1台（六戸町）が配置されている。

消防団業務は管轄する地域の実情により異なっているが、火災現場においては消火活動及びその支援、群衆整理、飛火警戒、搬出物品の保護等の活動を行っている。

また、水災をはじめ地震などの広範囲な災害や大規模な災害発生時には、消防職員とともに災害防ぎょ活動にあたり、地域防災力の中核となっている。

災害時以外には、各自の職業に従事しながらも地域住民の防災意識の普及や日常生活に密着した防火、防災指導を行うとともに、火災の警戒パトロール等を実施しており、地域における防災リーダーとして活躍している。



消防団員の階級別定員及び実員

令和4年4月1日現在

市町別	本部・分団名	階級別 実員・定員別	団	副	分	副	部	班	団	合
			長	団長	団長	分団長	長	長	員	計
十和田市	本部	実員	1	5	2	5	10	3	58	84
	中央分団	//			1	1	3	4	21	30
	第1分団	//			1	1	3	4	19	28
	第2分団	//			1	2	6	10	68	87
	第3分団	//			1	2	6	10	59	78
	第4分団	//			1	2	8	14	47	72
	第5分団	//			1	2	9	17	63	92
	第6分団	//			1	2	8	15	55	81
	第7分団	//			1	1	4	5	35	46
	第8分団	//			1	1	5	8	26	41
	第9分団	//			1	1	4	6	35	47
	第10分団	//			1	1	3	4	11	20
	計	実員	1	5	13	21	69	100	497	706
定員		1	5	15	21	80	120	618	860	
六戸町	本部	実員	1	2	4		1			8
	第1分団	//			1	1	2	2	11	17
	第2分団	//			1	1	2	2	10	16
	第3分団	//			1	1	2	2	23	29
	第4分団	//			1	1	2	2	10	16
	第5分団	//			1	1	2	2	12	18
	第6分団	//			1	1	2	2	11	17
	第7分団	//			1	1	2	2	14	20
	第8分団	//			1	1	2	2	8	14
	第9分団	//			1	1	2	2	15	21
	計	実員	1	2	13	9	19	18	114	176
定員		1	2	17	9	18	18	155	220	
合計	実員	2	7	26	30	88	118	611	882	
	定員	2	7	32	30	98	138	773	1,080	

消防団員の勤続年数状況

令和4年4月1日現在

市町別 勤続年数	市町別		合 計
	十 和 田 市	六 戸 町	
5 年 未 満	139	30	169
5 年 以 上 ~ 10 年 未 満	101	29	130
10 年 以 上 ~ 15 年 未 満	132	35	167
15 年 以 上 ~ 20 年 未 満	126	27	153
20 年 以 上 ~ 25 年 未 満	80	38	118
25 年 以 上 ~ 30 年 未 満	63	10	73
30 年 以 上	65	7	72
合 計	706	176	882

消防団員の階級別年齢状況

令和4年4月1日現在

市町別	階級別 区分	団	副	分	副	部	班	団	合
		長	団	団	分	長	長	員	計
十和田市	18～20歳未満							1	1
	20～25歳未満							27 (13)	27 (13)
	25～30歳未満						1	30 (7)	31 (7)
	30～35歳未満							38 (4)	38 (4)
	35～40歳未満					2	8	71 (3)	81 (3)
	40～45歳未満				1	3	11	93 (1)	108 (1)
	45～50歳未満					5	21	92 (9)	118 (9)
	50～55歳未満			1	2	14	24 (1)	63 (5)	104 (6)
	55～60歳未満			1	7 (1)	20 (1)	19	42 (1)	89 (3)
	60～65歳未満		2	5	8	12	13	30 (2)	70 (2)
	65歳以上	1	3	6	3	13	3	10 (2)	39 (2)
計	1	5	13	21 (1)	69 (1)	100 (1)	497 (47)	706 (50)	
六戸町	18～20歳未満								
	20～25歳未満								
	25～30歳未満							2	2
	30～35歳未満							8	8
	35～40歳未満							20	20
	40～45歳未満						2	36 (1)	38 (1)
	45～50歳未満				1	3	6	29	39
	50～55歳未満		2	3	3	7	6	13	34
	55～60歳未満			4	5	5	2	6	22
	60～65歳未満			6		3	2	1	12
	65歳以上	1							
計	1	2	13	9	18	18	115 (1)	176 (1)	

() の数値は、女性消防団員で内数。

消防団員報酬

令和4年4月1日現在

(単位：円)

階級別 市町別	職級別						
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
十和田市	82,500	69,000	50,500	45,500	38,500	37,500	36,500
六戸町	51,000	36,000	22,500	20,500	17,500	14,500	13,500

職務別 市町別	勤務状況別			
	水火災の場合	警戒の場合	訓練の場合	その他
十和田市	4時間未満 4,000 4時間以上 8,000	3,500	3,500	4時間未満 4,000 4時間以上 8,000 (山岳遭難救助)
六戸町	4時間未満 2,000 4時間以上 7時間45分未満 4,000 7時間45分以上 8,000	2,000	2,000	2,000

ポンプ等配置状況

令和4年4月1日現在

市町別	ポンプ別		ポンプ自動車	水槽付ポンプ自動車	小型動力ポンプ	小型動力ポンプ積載車	その他	合計
	分団名							
十和田市	本 部						1	1
	中 央 分 団		1			1		2
	第 1 分 団		2					2
	第 2 分 団		3			2		5
	第 3 分 団		4			1		5
	第 4 分 団		2			5		7
	第 5 分 団		2	1		5		8
	第 6 分 団		3			4		7
	第 7 分 団		2					2
	第 8 分 団		2			2		4
	第 9 分 団		1			2		3
	第 10分 団		1			1		2
	計		23	1		23	1	48
六戸町	本 部						1	1
	第 1 分 団			1				1
	第 2 分 団					1		1
	第 3 分 団					2		2
	第 4 分 団					1		1
	第 5 分 団					1		1
	第 6 分 団			1	1			2
	第 7 分 団					1		1
	第 8 分 団		1					1
	第 9 分 団		1					1
	計		2	2	1	6	1	12
合 計		25	3	1	29	2	60	

十和田消防イメージキャラクターです。

消防事務を担当します。



消火係長
(しょうろくかかりちょう)

消防隊を担当します。



火消くん
(ひけしくん)

通信指令を担当します。



一一九君
(いっとくくん)

救助隊を担当します。



Mr. レスキュー
(みすたーれすきゅー)

救急隊を担当します。



Qちゃん
(きゅうちゃん)

消 防 年 報

(令和3年版)

発 行 令和4年8月

編 集 十和田地域広域事務組合消防本部庶務課

〒034-0082 青森県十和田市西二番町7番10号

TEL 0176-25-4111

FAX 0176-25-4117
